

令和 8 年度 萩市当初予算の概要



重伝建選定

萩市伝統的建造物群保存地区

| | |
|-------|------|
| 堀内地区 | 50周年 |
| 平安古地区 | 50周年 |
| 浜崎 | 25周年 |
| 佐々並市 | 15周年 |



堀内地区



平安古地区



浜崎



佐々並市



令和 8 年 2 月
萩市総務部財政課

目 次

I 予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 1

1 予算の規模

- (1) 予算規模一覧
- (2) 一般会計予算規模の推移
- (3) 特別会計予算規模の推移
- (4) 企業会計（支出額ベース）予算規模の推移

2 予算の特色

- (1) 一般会計・歳入の状況
- (2) 一般会計・歳出の状況
- (3) 特別会計の状況
- (4) 企業会計の状況

II 萩市の財政事情・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 7

1 歳入・歳出総額、市税、地方交付税、市債の推移（普通会計）

2 市債発行額と公債元金との差、市債残高の推移（普通会計）

3 基金及び市債残高の状況

- (1) 健全な財政運営
- (2) 基金の状況（一般会計・特別会計）
- (3) 市債残高の状況（一般会計・特別会計・企業会計）

4 主な財政関係指標

III 各部局別予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P 13

I 予算の概要

令和8年度一般会計当初予算（案）の総額は、

前年度から 1.9%増の316億2,600万円としています。

令和8年度の当初予算は、「5つの良し」のまちづくりを基本とした「明るく元気で笑顔のある萩」の実現に向け、人口減少対策や長引く物価高騰対策などの政策課題に主体的に取り組む予算としています。

一般会計当初予算の特色

1. 住んで良しのまちづくり

移住・定住の促進、高齢者に対する補聴器の購入支援、市道側溝の補修、東萩駅前広場の整備などに取り組む予算

2. 訪れて良しのまちづくり

阿武川温泉公園、須佐湾エコロジーキャンプ場及び萩アクティビティパーク等の施設の改修、重伝建選定50周年の記念事業などに取り組む予算

3. 働いて良しのまちづくり

農業担い手に対する施設整備等の支援、私有地における松くい虫被害木の伐倒駆除、新規就業者に対する漁業技術習得等の支援、テレワーク就業の促進などに取り組む予算

4. 学んで良しのまちづくり

小中学校のあり方の検討、小中学校における空調設備の整備、部活動の地域移行の推進、萩市民館の建物調査などに取り組む予算

5. 育てて良しのまちづくり

子育て世帯の経済的負担の軽減、第1子保育料及び保育所等の給食費無償化、小・中学校の給食費無償化などに取り組む予算

1 予算の規模

(1) 予算規模一覧

| 区分 | 令和8年度（案） | 令和7年度 | 増減額 | 増減率（%） |
|------------------|---------------|----------------------------------|------------------------------|----------------|
| 一般会計 | 316億2,600万円 | 310億3,600万円 (312億5,771万8千円) | 5億9,000万円 (3億6,828万2千円) | 1.9 (1.2) |
| 特別会計 | 137億4,780万円 | 142億4,040万円 (142億5,040万円) | △4億9,260万円 (△5億260万円) | △3.5 (△3.5) |
| 企業会計 (支出額ベース) | 123億2,622万8千円 | 103億5,183万8千円 | 19億7,439万円 | 19.1 |
| 合計 | 577億2万8千円 | 556億2,823万8千円 (558億5,995万6千円) | 20億7,179万円 (18億4,007万2千円) | 3.7 (3.3) |

(2) 一般会計予算規模の推移

| 年 度 | 当初予算額 | 増 減 額 | 増減率 (%) |
|----------|--------------------------------|----------------------------|--------------|
| 令和8年度(案) | 316億2,600万円 | 5億9,000万円 (3億6,828万2千円) | 1.9 (1.2) |
| 令和7年度 | 310億3,600万円 (312億5,771万8千円) | 2億1,400万円 (4億3,571万8千円) | 0.7 (1.4) |
| 令和6年度 | 308億2,200万円 | 9億2,200万円 | 3.1 |
| 令和5年度 | 299億円 | 2,000万円 | 0.1 |

(3) 特別会計予算規模の推移

| 年 度 | 当初予算額 | 増 減 額 | 増減率 (%) |
|----------|-------------------------------|----------------------------|----------------|
| 令和8年度(案) | 137億4,780万円 | △4億9,260万円 (△5億260万円) | △3.5 (△3.5) |
| 令和7年度 | 142億4,040万円 (△142億5,040万円) | △5億3,410万円 (△5億2,410万円) | △3.6 (△3.5) |
| 令和6年度 | 147億7,450万円 | △6,660万円 | △0.4 |
| 令和5年度 | 148億4,110万円 | 2億1,730万円 | 1.5 |

(4) 企業会計(支出額ベース)予算規模の推移

| 年 度 | 当初予算額 | 増 減 額 | 増減率 (%) |
|----------|---------------|--------------|------------|
| 令和8年度(案) | 123億2,622万8千円 | 19億7,439万円 | 19.1 |
| 令和7年度 | 103億5,183万8千円 | △2億9,074万円 | △2.7 |
| 令和6年度 | 106億4,257万8千円 | △2億9,739万1千円 | △2.7 |
| 令和5年度 | 109億3,996万9千円 | 16億6,130万1千円 | 17.9 |

※令和7年度欄の()内は、当初予算に市長選挙後の政策的経費等となる6月補正予算(第3号)を追加したもの

2 予算の特色

(1) 一般会計・歳入の状況

| 区 分 | 令和8年度(案) | | 令和7年度 | | 比 較 | |
|----------|--------------|------------|--------------|------------|-------------|------------|
| | 当初予算額 | 構成比 (%) | 当初予算額 | 構成比 (%) | 増 減 額 | 増減率 (%) |
| 市税 | 51億1,170万7千円 | 16.2 | 49億9,694万7千円 | 16.1 | 1億1,476万円 | 2.3 |
| 地方譲与税 | 3億2,880万円 | 1.0 | 3億3,180万円 | 1.1 | △300万円 | △0.9 |
| 地方消費税交付金 | 11億100万円 | 3.5 | 9億9,400万円 | 3.2 | 1億700万円 | 10.8 |
| 地方特例交付金 | 7,000万円 | 0.2 | 2,207万円 | 0.1 | 4,793万円 | 217.2 |
| 地方交付税 | 120億5,000万円 | 38.1 | 119億5,000万円 | 38.5 | 1億円 | 0.8 |
| 国・県支出金 | 58億6,272万円 | 18.5 | 58億3,039万円 | 18.8 | 3,233万円 | 0.6 |
| 繰入金 | 33億4,436万2千円 | 10.6 | 29億3,822万円 | 9.5 | 4億614万2千円 | 13.8 |
| うち財調基金 | 19億629万2千円 | 6.0 | 19億6,952万2千円 | 6.4 | △6,323万円 | △3.2 |
| その他 | 14億3,807万円 | 4.6 | 9億6,869万8千円 | 3.1 | 4億6,937万2千円 | 48.5 |
| 市債 | 17億3,240万円 | 5.5 | 18億3,900万円 | 5.9 | △1億660万円 | △5.8 |
| その他 | 20億2,501万1千円 | 6.4 | 21億3,357万3千円 | 6.8 | △1億856万2千円 | △5.1 |
| 合 計 | 316億2,600万円 | 100.0 | 310億3,600万円 | 100.0 | 5億9,000万円 | 1.9 |

◎主な増減要因

【市税】

賃金の上昇に伴う給与所得の増加による個人市民税所得割の増収や、令和8年度に加熱式たばこの税率が変更されるため、市たばこ税の増収を見込み、増額しています。

【地方特例交付金】

当分の間税率（地方揮発油譲与税等）、環境性能割（軽自動車税等）廃止に伴う減収分が、地方特例交付金により全額補填されることから、増加しています。

【地方交付税】

普通交付税について、令和8年度地方財政対策において、物価高等への対応等により、地方交付税総額を増額することが示されたことなどにより、前年度から1億円増となる106億円を計上しています。

【繰入金】

財源不足に対応するため、財政調整基金から、前年度比3.2%減の19億629万2千円を繰り入れることとしています。また、市庁舎建設基金から萩市役所第3庁舎の整備にかかる市債の償還のため、繰り入れることとしていることから、増額しています。

【市債】

令和8年度地方財政対策において、引き続き臨時財政対策債は、新規発行しないことが示されたため予算計上していません。また、消防指令センター共同整備事業等の大型事業に係る市債の発行額が減少したため、減額となっています。

(2) 一般会計・歳出の状況

| 区 分 | 令和8年度(案) | | 令和7年度 | | 比 較 | |
|----------|--------------|------------|--------------|------------|--------------|------------|
| | 当初予算額 | 構成比 (%) | 当初予算額 | 構成比 (%) | 増減額 | 増減率 (%) |
| 人件費 | 63億7,943万6千円 | 20.2 | 60億2,591万2千円 | 19.4 | 3億5,352万4千円 | 5.9 |
| 扶助費 | 48億795万5千円 | 15.2 | 48億1,792万6千円 | 15.5 | △997万1千円 | △0.2 |
| 公債費 | 32億7,713万8千円 | 10.3 | 30億5,942万9千円 | 9.9 | 2億1,770万9千円 | 7.1 |
| 投資的経費 | 24億5,246万4千円 | 7.7 | 27億8,033万1千円 | 9.0 | △3億2,786万7千円 | △11.8 |
| うち普通建設事業 | 24億4,560万円 | 7.7 | 27億7,346万7千円 | 9.0 | △3億2,786万7千円 | △11.8 |
| うち災害復旧事業 | 686万4千円 | 0.0 | 686万4千円 | 0.0 | 0千円 | 0.0 |
| 物件費 | 44億9,323万1千円 | 14.2 | 42億3,990万8千円 | 13.7 | 2億5,332万3千円 | 6.0 |
| 補助費等 | 53億1,649万5千円 | 16.8 | 51億4,826万円 | 16.6 | 1億6,823万5千円 | 3.3 |
| 繰出金 | 33億6,159万3千円 | 10.6 | 32億9,553万2千円 | 10.6 | 6,606万1千円 | 2.0 |
| その他 | 15億3,768万8千円 | 5.0 | 16億6,870万2千円 | 5.3 | △1億3,101万4千円 | △7.9 |
| 合 計 | 316億2,600万円 | 100.0 | 310億3,600万円 | 100.0 | 5億9,000万円 | 1.9 |

◎主な増減要因

【人件費】

定年退職に伴う退職手当や、会計年度任用職員の報酬及び期末・勤勉手当の増加などにより、増額となっています。

【公債費】

萩市役所第3庁舎の整備にかかる市債の償還において、利子負担の軽減のため、その一部を繰上償還等することから、一時的に増額となっています。

【投資的経費】

消防指令センター共同整備事業や、常備消防車両整備事業（救助工作車の更新）などの大型事業が完了したことなどにより、減額となっています。

【物件費】

電算機器の更新や老朽危険空き建築物の解体などにより、増額となっています。

【その他・積立金】

職員退職手当基金積立金の減少などにより、減額となっています。

(3) 特別会計の状況

| 区 分 | 令和8年度(案) | 令和7年度 | 増減額 | 増減率 (%) |
|----------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 土地取得事業 | 410万円 | 190万円 | 220万円 | 115.8 |
| 国民健康保険事業(事業勘定) | 58億2,460万円 | 61億5,070万円 | △3億2,610万円 | △5.3 |
| 国民健康保険事業(直診勘定) | 6億7,410万円 | 6億8,610万円 | △1,200万円 | △1.7 |
| 休日急患診療事業 | 1億2,930万円 | 9,990万円 | 2,940万円 | 29.4 |
| 後期高齢者医療事業 | 13億200万円 | 11億3,940万円 | 1億6,260万円 | 14.3 |
| 介護保険事業 | 58億1,370万円 | 61億6,240万円 | △3億4,870万円 | △5.7 |
| 合 計 | 137億4,780万円 | 142億4,040万円 | △4億9,260万円 | △3.5 |

◎主な増減要因

【土地取得事業】

定期預金等に係る利子収入の増加により、増額となっています。

【国民健康保険事業(事業勘定)】

被保険者数の減少に伴う保険給付費の減少等により、減額となっています。

【国民健康保険事業(直診勘定)】

患者数の減少に伴う医薬材料費の減少等により、減額となっています。

【休日急患診療事業】

院外処方から院内処方に変更するための備品の整備や薬剤師の雇用、外壁改修工事などにより、増額となっています。

【後期高齢者医療事業】

高齢化の進行により、県全体の保険給付費が大きく増加し、広域連合への保険料負担額が増額となっています。

【介護保険事業】

被保険者数及び要介護(要支援)認定者数の減少に伴う保険給付費の減少等により、減額となっています。

(4) 企業会計の状況

| 区 分 | | 令和8年度(案) | 令和7年度 | 増 減 額 | 増減率 (%) |
|-------|-------|--------------|--------------|-------------|------------|
| 水道事業 | 収益的収入 | 10億7,600万円 | 10億9,600万円 | △2,000万円 | △1.8 |
| | 収益的支出 | 11億7,500万円 | 12億円 | △2,500万円 | △2.1 |
| | 資本的収入 | 17億6,644万9千円 | 6億6,031万4千円 | 11億613万5千円 | 167.5 |
| | 資本的支出 | 21億3,738万3千円 | 10億2,667万3千円 | 11億1,071万円 | 108.2 |
| 下水道事業 | 収益的収入 | 22億5,600万円 | 22億2,400万円 | 3,200万円 | 1.4 |
| | 収益的支出 | 22億5,600万円 | 22億2,400万円 | 3,200万円 | 1.4 |
| | 資本的収入 | 18億8,274万円 | 14億7,900万円 | 4億374万円 | 27.3 |
| | 資本的支出 | 22億9,762万1千円 | 18億9,600万円 | 4億162万1千円 | 21.2 |
| 病院事業 | 収益的収入 | 34億1,573万円 | 32億611万6千円 | 2億961万4千円 | 6.5 |
| | 収益的支出 | 36億3,408万1千円 | 34億5,098万4千円 | 1億8,309万7千円 | 5.3 |
| | 資本的収入 | 6億4,366万1千円 | 3億6,527万7千円 | 2億7,838万4千円 | 76.2 |
| | 資本的支出 | 8億2,614万3千円 | 5億5,418万1千円 | 2億7,196万2千円 | 49.1 |

○水道事業

安全・安心なおいしい水道水を安定的に供給するため、「萩市水道事業ビジョン」に基づき、適正な施設の維持保全に努めるとともに、持続可能な事業運営に向け、業務の効率化に取り組みます。また、地震や異常気象による災害への備えとして、耐用年数を経過した水道施設を計画的に更新し、被害の低減を図るなど強靱な水道施設の整備を推進します。

○下水道事業

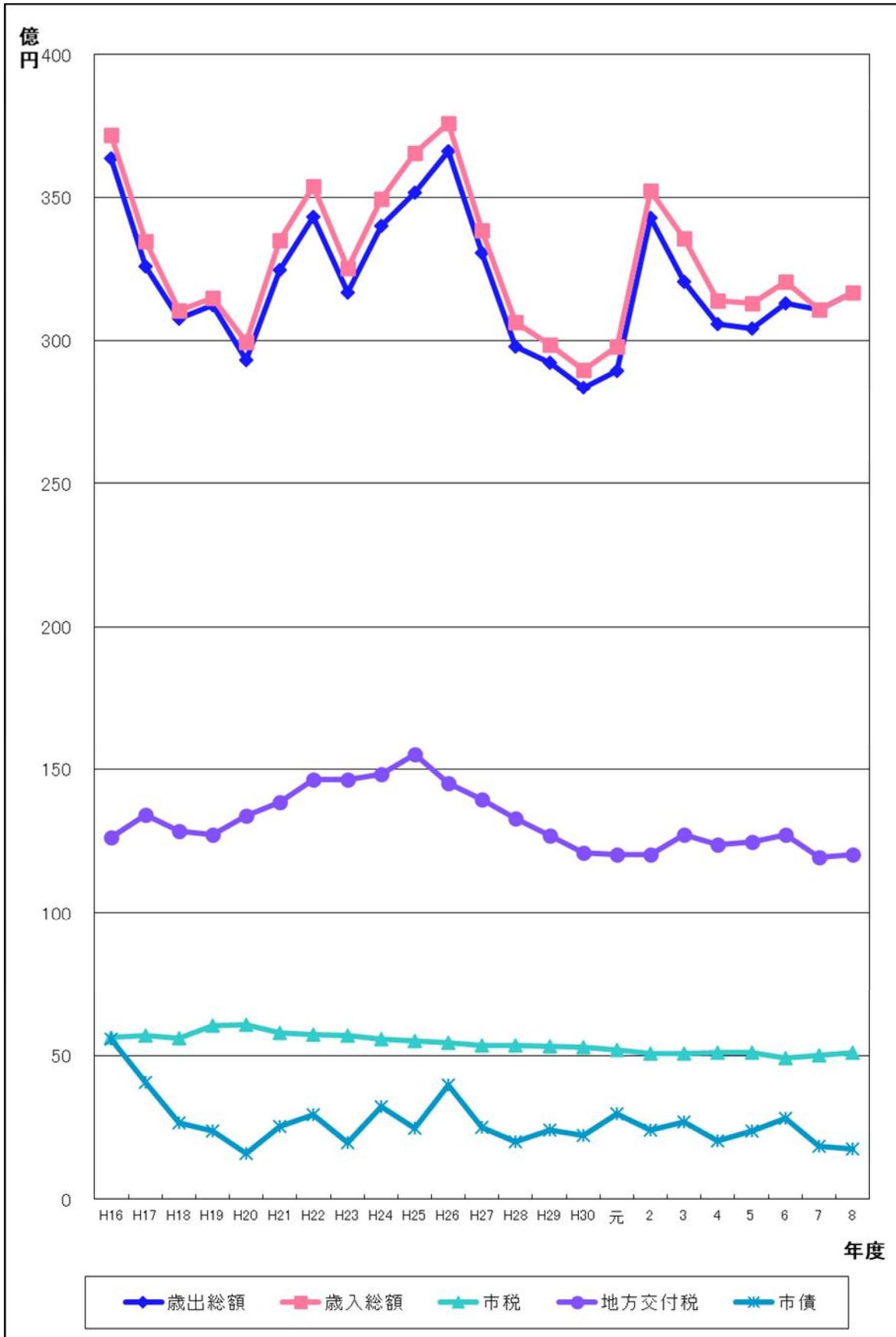
生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図るため、水洗化の促進に努めるとともに、生活に欠くことのできないサービスとして安定的な事業運営に努めます。未普及地域（椿東、椿及び山田地区）の整備については、令和8年度末での完了に向けて取り組みます。また、各処理場の設備更新等を計画的に実施し、効率的な維持管理を推進します。

○病院事業

萩市民病院は萩医療圏で唯一の公立病院として、救急医療をはじめ、へき地医療や小児医療など地域に必要とされる医療の提供に努めています。近年は、医療人材の不足に加え、物価や人件費の高騰などにより、非常に厳しい経営状況にあります。しかし、「萩市民病院経営強化プラン」に掲げる様々な経営改善策を推進し、持続可能な医療提供体制の構築に取り組みます。

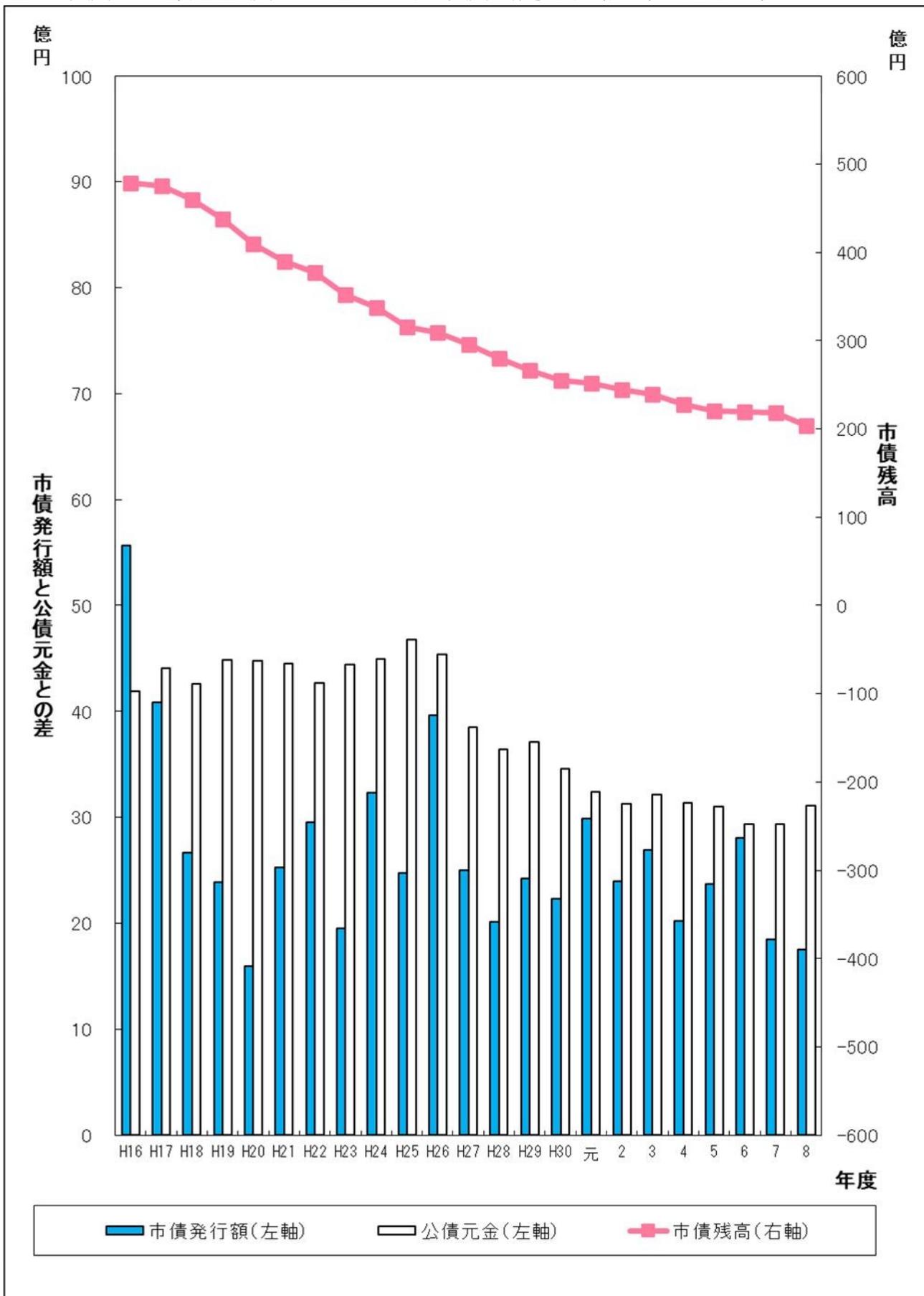
Ⅱ 萩市の財政事情

1 歳入・歳出総額、市税、地方交付税、市債の推移（普通会計）



※ 令和6年度までは決算数値、令和7・8年度は当初予算数値としています。

2 市債発行額と公債元金との差、市債残高の推移（普通会計）



※ 令和6年度までは決算数値、令和7・8年度は当初予算数値としています。

3 基金及び市債残高の状況

(1) 健全な財政運営

■基金残高（一般会計・特別会計）の維持

新市発足時基金残高・・・・・・・・・・110億5,354万4千円

令和6年度末基金残高・・・・・・・・・・157億644万3千円

令和7年度末基金残高見込・・・・・・・・132億6,723万2千円

■市債残高（一般会計・特別会計・企業会計）の削減

| 区 分 | 平成16年度末 | 令和6年度末 | 令和7年度末見込 |
|-----------------------|---------------|----------------|----------------|
| 平成16年度末以降の市債残高減少額(累計) | | △361億5,526万7千円 | △362億8,306万2千円 |
| 対前年度市債増減額(単年度増減額) | | 4億1,422万1千円 | △1億2,779万5千円 |
| 市 債 残 高 | 745億9,625万5千円 | 384億4,098万8千円 | 383億1,319万3千円 |

20年間で約361.6億円を削減

令和6年度と比較して令和7年度の地方債発行予定額が減少したことで、残高が減少

(2) 基金の状況（一般会計・特別会計）

| 区 分 | 令和6年度末 | 令和7年度末見込 | 令和8年度増減 | 令和8年度末見込 | |
|--------|------------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 基金総額 | 157億644万3千円 | 132億6,723万2千円 | △30億6,589万5千円 | 102億133万7千円 | |
| 内 訳 | 財政調整基金 | 51億2,840万3千円 | 35億1,496万8千円 | △18億8,848万3千円 | 16億2,648万5千円 |
| | 減債基金 | 10億2,270万2千円 | 6億3,692万8千円 | △3億8,472万7千円 | 2億5,220万1千円 |
| | 職員退職手当基金 | 1億8,157万3千円 | 2億6,259万2千円 | 6,427万2千円 | 3億2,686万4千円 |
| | 市民病院基金 | 9億3,382万円 | 9億3,523万9千円 | 324万3千円 | 9億3,848万2千円 |
| | 合併特別基金 | 29億3,835万円 | 25億6,049万円 | △4億9,149万6千円 | 20億6,899万4千円 |
| | あなたのふるさと 救済基金 | 6億6,007万1千円 | 6億745万8千円 | △4,946万8千円 | 5億5,799万円 |
| | その他の基金 | 48億4,152万4千円 | 47億4,955万7千円 | △3億1,923万6千円 | 44億3,032万1千円 |

(3) 市債残高の状況（一般会計・特別会計・企業会計）

(単位：千円)

| 区分 | 16年度末 | 29年度末 | 30年度末 | 元年度末 | 2年度末 | 3年度末 | 4年度末 | 5年度末 | 6年度末 | 7年度末 見込額 | 8年度末 見込額 |
|-----------------------------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| (1) 16年度末以降の市債 残高減少額（累計） | | △ 29,548,526 | △ 31,295,434 | △ 31,917,710 | △ 33,154,723 | △ 34,097,251 | △ 35,642,133 | △ 36,569,488 | △ 36,155,267 | △ 36,283,062 | △ 36,206,844 |
| (2) 対前年度市債減少額 （単年度減少額） | | △ 2,031,794 | △ 1,746,908 | △ 622,276 | △ 1,237,013 | △ 942,528 | △ 1,544,882 | △ 927,355 | 414,221 | △ 127,795 | 76,218 |
| (3) 市債残高総額 | 74,596,255 | 45,047,729 | 43,300,821 | 42,678,545 | 41,441,532 | 40,499,004 | 38,954,122 | 38,026,767 | 38,440,988 | 38,313,193 | 38,389,411 |
| ① 一般会計 | 48,020,201 | 26,678,193 | 25,447,389 | 25,190,053 | 24,456,930 | 23,935,027 | 22,817,656 | 22,087,381 | 21,942,388 | 21,707,449 | 20,330,444 |
| ② 特別会計 | 20,087,897 | 4,627,904 | 176,017 | 150,046 | 145,416 | 199,671 | 237,149 | 232,742 | 236,698 | 235,191 | 230,073 |
| 国民健康保険事業（直診 勘定）特別会計 | 265,522 | 213,187 | 176,017 | 150,046 | 145,416 | 199,671 | 237,149 | 232,742 | 225,098 | 215,091 | 188,828 |
| 休日急患診療事業特別 会計 | | | | | | | | | 11,600 | 20,100 | 41,245 |
| 介護保険事業特別会計 | 23,534 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 住宅新築資金等貸付事 業特別会計 | 7,830 | | | | | | | | | | |
| 簡易水道事業特別会計 | 2,217,222 | | | | | | | | | | |
| 公共下水道事業特別会 計 | 10,168,767 | | | | | | | | | | |
| 特定環境公共下水道事 業特別会計 | 712,538 | | | | | | | | | | |
| 農業集落排水事業特別 会計 | 4,972,516 | 2,556,730 | | | | | | | | | |
| 漁業集落排水事業特別 会計 | 1,577,946 | 1,748,377 | | | | | | | | | |
| 林業集落排水事業特別 会計 | 20,332 | 6,093 | | | | | | | | | |
| 特定地域生活排水事業 特別会計 | 26,000 | 65,081 | | | | | | | | | |
| 個別排水事業特別会計 | 95,690 | 38,436 | | | | | | | | | |
| ③ 企業会計 | 6,488,157 | 13,741,632 | 17,677,415 | 17,338,446 | 16,839,186 | 16,364,306 | 15,899,317 | 15,706,644 | 16,261,902 | 16,370,553 | 17,828,894 |
| 水道事業会計 | 2,195,806 | 4,431,679 | 4,413,481 | 4,371,134 | 4,309,963 | 4,225,213 | 4,212,532 | 4,452,150 | 5,384,791 | 5,653,018 | 6,830,235 |
| 下水道事業会計 | | 6,380,596 | 10,538,310 | 10,399,825 | 10,090,102 | 9,735,988 | 9,373,374 | 9,026,032 | 8,887,877 | 8,978,355 | 9,213,302 |
| 病院事業会計 | 4,292,351 | 2,929,357 | 2,725,624 | 2,567,487 | 2,439,121 | 2,403,105 | 2,313,411 | 2,228,462 | 1,989,234 | 1,739,180 | 1,785,357 |

4 主な財政関係指標

(1) 財政力指数（単年度）

| 令和7年度 | 令和6年度 | 令和5年度 |
|-------|-------|-------|
| 0.322 | 0.316 | 0.318 |

※ 財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指標で、普通交付税の額の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値です。この指数が大きいほど財政的に余裕があるとされ、この指数が1を超えると、普通交付税の不交付団体となります。

(2) 経常収支比率（決算）

| 令和6年度 | 令和5年度 | 令和4年度 |
|-------|-------|-------|
| 94.1% | 92.4% | 93.3% |

※ 経常収支比率とは、税や地方交付税等の経常的に収入される一般的な財源を、人件費、扶助費、公債費等の経常的に支出する経費にどれくらい充てているかを示す指標です。この比率が高ければ高いほど、財源的な余裕がなく、財政状況が厳しいことを示しています。

(3) 実質公債費比率（単年度）

| 令和6年度 | 令和5年度 | 令和4年度 |
|-------|-------|-------|
| 4.9% | 5.5% | 5.8% |

※ 実質公債費比率とは、収入に対する公債費等の占める割合を示す指標です。3か年の平均が18%以上の場合は、地方債の発行について国の許可が必要となります。また、財政健全化判断比率上では、この数値が25%以上で早期健全化段階となり、財政運営を行う上で国による制限がかかります。萩市の場合、令和4年度から令和6年度までの3か年平均は5.4%といずれの基準もクリアしており、健全な状態であるといえます。

(4) 将来負担比率（決算）

| 令和6年度 | 令和5年度 | 令和4年度 |
|-------|-------|-------|
| — | — | — |

※「—」は、将来負担額がないことを示します。

※ 将来負担比率とは、将来に渡って支払う必要があるものの総額が1年間の収入総額に対してどのくらいの割合かを示す指標で、将来の財政のひっ迫度合いを示す指標です。財政健全化判断比率上では、この数値が350%以上で早期健全化段階となり、財政運営を行う上で国による制限がかかります。萩市の場合、基準をクリアしており、健全な状態であるといえます。

(5) 義務的経費比率（一般会計）

| 令和8年度 | 令和7年度 | 令和6年度 |
|-------|-------|-------|
| 45.7% | 44.8% | 43.5% |

※ 義務的経費比率とは、歳出に占める義務的経費（人件費、扶助費、公債費の合計）の割合で、比率が高ければ高いほど自由に使える予算が少ないことを示す指標です。

(6) 投資的経費比率（一般会計）

| 令和8年度 | 令和7年度 | 令和6年度 |
|-------|-------|-------|
| 7.7% | 9.0% | 12.1% |

※ 投資的経費比率とは、歳出に占める投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費の合計）の割合を示す指標です。

Ⅲ 各部局別予算の概要

P14～15では、「5つの良し」のまちづくりの基本政策別主要事業の一覧を記載しています。

P16以降は、各部局別の当初予算の概要です。

※令和8年2月1日時点での組織・機構で作成しています。

- ◆「予算の概要」・・・・・・・・各部局の令和8年度予算編成の考え方について記載しています。
- ◆「主要事業の概要」・・・・・・・・各部局が周知したい事業や新規事業を中心に事業内容の説明を記載しています。

| | | | | | | |
|---|---|---|------------------|------------------|------------------|---------|
| 総 | 務 | 部 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P16～P17 | | |
| 総 | 合 | 政 | 策 | 部 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P18～P21 |
| 総 | 合 | 事 | 務 | 所 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P22～P25 |
| 市 | 民 | 部 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P26～P27 | | |
| 福 | 祉 | 部 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P28～P34 | | |
| 保 | 健 | 部 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P35～P39 | | |
| 農 | 林 | 水 | 産 | 部 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P40～P47 |
| 商 | 工 | 観 | 光 | 部 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P48～P53 |
| 土 | 木 | 建 | 築 | 部 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P54～P61 |
| 教 | 育 | 委 | 員 | 会 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P62～P66 |
| 消 | 防 | 本 | 部 | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | P67～P68 | |

◆「5つの良し」のまちづくり 基本政策別主要事業

「明るく元気な萩市」を創るために掲げる、「5つの良し」のまちづくりの基本政策に沿った主な事業です。

住んで良しのまちづくり

- ハザードマップ作成事業（3,101万4千円）・・・・・・・・・・（P17上）
- ＜新規＞木間地域活性化センターWi-Fi整備事業（154万2千円）・・・（P17下）
- 自治体DX推進事業（4,512万8千円）・・・・・・・・・・（P20上）
- 移住促進対策事業（5,170万6千円）・・・・・・・・・・（P20下）
- ふるさと寄附推進事業（1億7,810万円）・・・・・・・・・・（P21上）
- 公民館等トイレ改修事業（781万1千円）・・・・・・・・・・（P25上）
- 後期高齢者心電図検査モデル事業（202万2千円）・・・・・・・・・・（P27上）
- ＜新規＞障がい者支援施設整備費補助事業（920万円）・・・・・・・・・・（P29下）
- ＜拡充＞障がい者福祉タクシー助成事業（804万円）・・・・・・・・・・（P30上）
- 介護人材確保・育成事業（188万8千円）・・・・・・・・・・（P30下）
- ＜新規＞高齢者補聴器購入費助成事業（480万円）・・・・・・・・・・（P31上）
- ＜新規＞短期集中いきいき生活支援事業（198万2千円）・・・・・・・・・・（P34）
- 看護師等住宅運営事業（720万円）・・・・・・・・・・（P37下）
- 看護人材育成奨学金事業（630万円）・・・・・・・・・・（P38上）
- 周産期医療体制確保事業（3,510万円）・・・・・・・・・・（P38下）
- ＜新規＞院内薬局設置運営事業（2,259万9千円）・・・・・・・・・・（P39）
- 海岸保全事業（9,000万円）・・・・・・・・・・（P47）
- ＜新規＞道路側溝補修事業（5,000万円）・・・・・・・・・・（P55上）
- ＜新規＞立地適正化計画改定事業（924万4千円）・・・・・・・・・・（P60上）
- 東萩駅前広場整備事業（2,478万4千円）・・・・・・・・・・（P60下）
- 住宅改修資金助成事業（700万円）・・・・・・・・・・（P61上）
- 老朽危険空き家対策事業（1億3,797万2千円）・・・・・・・・・・（P61下）
- 常備消防車両整備事業（債務負担行為：2億6,000万円）・・・・・・・・・・（P68上）

訪れて良しのまちづくり

- ジオパーク推進事業（1,171万9千円）・・・・・・・・・・（P21下）
- ＜新規＞萩阿武川温泉公園等施設改修事業（723万1千円）・・・・・・・・・・（P23上）
- ＜新規＞龍鱗郷看板整備事業（44万2千円）・・・・・・・・・・（P23中）
- 地域彩り交流促進事業（413万9千円）・・・・・・・・・・（P24～25）
- ＜新規＞須佐湾エコロジーキャンプ場改修事業（333万9千円）・・・・・・・・・・（P24下）
- ＜新規＞国指定史跡「萩往還」改修事業（274万5千円）・・・・・・・・・・（P25中）
- 萩まちじゅう博覧会展開事業（133万4千円）・・・・・・・・・・（P49下）
- ＜新規＞萩城下町再生古地図制作事業（264万円）・・・・・・・・・・（P50上）
- 萩版DMO推進事業（3,250万円）・・・・・・・・・・（P50下）
- ＜新規＞観光マーケティング分析事業（429万円）・・・・・・・・・・（P51上）

- 山口デスティネーションキャンペーン推進事業（70万4千円）・・・・・・・・（P51 中）
- ＜新規＞観光サイン整備事業（684万2千円）・・・・・・・・（P51 下）
- 萩アクティビティパーク施設改修事業（7,409万9千円）・・・・・・・・（P52 上）
- ＜新規＞萩・明倫学舎展示多言語化事業（300万円）・・・・・・・・（P52 下）
- ＜新規＞堀内地区・平安古地区重伝建選定50周年記念事業（264万円）・・（P53 上）
- 萩博物館特別展等開催事業（2,118万9千円）・・・・・・・・（P53 下）

働いて良しのまちづくり

- ＜新規＞環境にやさしい農業推進対策事業（500万9千円）・・・・・・・・（P41）
- ＜拡充＞農業中心経営体育成支援事業（1,500万円）・・・・・・・・（P42 上）
- ＜拡充＞農業担い手経営強化支援事業（1,856万8千円）・・・・・・・・（P42 下）
- ＜新規＞危険鳥獣被害防止対策事業（79万4千円）・・・・・・・・（P43 上）
- 次世代畜産総合振興事業（350万円）・・・・・・・・（P43 下）
- ＜新規＞森と創る未来へのチャレンジ事業（300万円）・・・・・・・・（P44 上）
- ＜新規＞松くい虫被害木伐倒駆除事業（624万4千円）・・・・・・・・（P44 中）
- 旬の地魚がおいしいまち・萩推進事業（110万8千円）・・・・・・・・（P44 下）
- ＜新規＞水産業施設環境整備補助事業（189万3千円）・・・・・・・・（P45）
- ＜新規＞チャレンジ漁業総合支援事業（518万5千円）・・・・・・・・（P46）
- ＜新規＞デジタル化による経営革新補助事業（1,939万4千円）・・・・・・・・（P49 上）
- ＜拡充＞萩テレワーク就業マッチング強化事業（500万円）・・・・・・・・（P49 中）

学んで良しのまちづくり

- 高校生寮運営事業（1,570万6千円）・・・・・・・・（P63 上）
- ＜新規＞小中学校のあり方検討事業（22万9千円）・・・・・・・・（P63 下）
- 小中学校特別教室空調設備整備事業（2億8,064万5千円）・・・・・・・・（P64 上）
- 小中学校トイレ改修事業（405万1千円）・・・・・・・・（P64 中）
- 部活動地域クラブ移行推進事業（2,183万円）・・・・・・・・（P65 上）
- 萩市民館建物調査事業（3,025万円）・・・・・・・・（P65 下）
- ＜拡充＞電子書籍読み放題パック導入事業（566万4千円）・・・・・・・・（P66 上）

育てて良しのまちづくり

- 子育て世帯応援誕生祝金事業（1,400万円）・・・・・・・・（P31 下）
- 多子世帯応援誕生祝金事業（990万円）・・・・・・・・（P32 上）
- ＜新規＞乳児等通園支援事業（655万2千円）・・・・・・・・（P32 下）
- ＜拡充＞第1子保育料及び保育所等給食費無償化事業（5,286万4千円）・・（P33）
- ＜拡充＞予防接種事業（RSウイルスワクチン）（450万円）・・・・・・・・（P36 上）
- ＜拡充＞こども家庭センター運営事業（1,572万2千円）・・・・・・・・（P36 下）
- 妊婦のための支援給付事業（1,412万2千円）・・・・・・・・（P37 上）
- 子育て世帯応援学校給食費助成事業（9,944万5千円）・・・・・・・・（P64 下）

総 務 部

◆予算の概要

少子高齢化の進行による労働力不足や物価高騰が、市民生活及び地域経済に大きな影響を与えるなど、萩市を取り巻く環境は厳しさを増し、先行きが見えない状況が続いています。加えて、社会の在り方や人々の価値観、働き方が、大きく変容しつつある中において、萩市の行財政を持続可能なものにしていくため、現下の社会情勢に的確に対応し、多様化かつ複雑化する行政課題に迅速に取り組むことができるよう、力強い組織づくりに努めてまいります。

近年、慢性化する人手不足を背景に、全国的に公務を担う人材の確保が難しくなっており、今後、ますます人材獲得の競争が激しくなることが予想されます。萩市においても、職員採用の状況は厳しく、採用予定者数に満たない職種が増加するなど、市民の皆様の生活の基盤を最前線で支える職員の確保は、深刻かつ喫緊の課題となっています。このため、採用試験における受験資格や試験内容を見直すとともに、積極的に情報の発信に取り組みます。また、次代を担う職員の育成とともに、ワーク・ライフ・バランスを促進し、多様で柔軟な働き方の実現に向け、新たな勤務形態の導入を検討するなど、全ての職員が働きがいと働きやすさを実感できるよう、魅力ある職場づくりに努めます。

市政の運営のためには、市民の皆様のご理解とご協力が不可欠であり、広く、ご意見をお伺いし、皆様のニーズをしっかりと把握することが必要です。このため、市政への参加を促し、市政に対する理解を深めていただくことができるよう、今後も広報紙やSNSなど様々な媒体を活用し、市民の皆様へ必要な情報を適時的確かつ分かりやすくお届けするなど、効果的な情報発信に努めます。

我が国では、地震や大雨などの自然災害が頻発化するとともに、その被害も激甚化しています。加えて、弾道ミサイルの発射や武力攻撃などの国民保護事態への対応も求められています。こうした中、市民の皆様生命と財産を守るための対策の更なる充実と強化は、重点課題の一つです。引き続き、災害時の避難行動に支援を要する高齢者や障がいのある方を対象とした「個別避難計画」の作成に取り組みます。また、水害時における被害の軽減を図るため、新たに中小河川についても、洪水浸水想定区域を可視化したハザードマップを作成します。さらに、緊急時における市民の皆様に対する避難情報について、迅速かつ確実に伝達することができるよう、防災行政無線設備等の維持管理を適切かつ計画的に行うなど、今後も、市民の皆様一人ひとりの防災力を高め、「逃げ遅れゼロ」の実現に向けて取組を推進します。

◆主要事業の概要

■ハザードマップ作成事業（3,101万4千円）

（担当課：防災危機管理課）

水防法の改正により、中小河川についても、洪水浸水想定区域の指定対象に追加されたことに伴い、適切な水害リスク情報を住民に提供し、被害の軽減を図るため、対象となる中小河川の洪水浸水想定区域を可視化したハザードマップを新たに作成します。

事業内容：ハザードマップの作成、配布

対象河川：67河川

[財源内訳] 消防費国庫補助金 1,549万3千円、一般財源 1,552万1千円

■＜新規＞木間地域活性化センターWi-Fi整備事業（154万2千円）

（担当課：防災危機管理課）

災害時の避難所における気象情報等の監視や、情報収集を行う通信環境を確保するため、木間地区の指定避難所である「木間地域活性化センター」に、Wi-Fi設備を整備します。

[財源内訳] 市債 150万円、一般財源 4万2千円

総 合 政 策 部

◆予算の概要

人口減少と少子高齢化、食料品やエネルギーの価格高騰、さらに、ビジネスモデルや生活様式にまで変容をもたらしたデジタル技術の急速な進化など、萩市を取り巻く環境は日々変化しています。

このような時代において、変化に柔軟に対応しつつ、地域課題を一つひとつ克服し、選ばれるまちづくりに取り組むとともに、人口減少下にあっても、多様な行政課題に的確に対応するため、時代にあった行政組織とサービスの在り方を再構築する行財政改革の取組を進めます。

人口減少対策としては、定住総合相談窓口「はぎポルト - 暮らしの案内所 - 」を中心に、引き続き、移住・定住の促進に取り組めます。

移住・定住の促進では、若者や子育て世代に選ばれるまちづくりを推進するとともに、移住を検討する方に必要な「住まい」や「仕事」などの情報を一元的に提供する「移住定住情報ポータルサイト」や、移住・関係人口マッチングサービス「スマウト」を活用し、萩の魅力と移住・定住支援策の情報発信に取り組めます。

特に人口減少が著しい離島や中山間地域では、各地域の実情に応じた対策を講じるとともに、地域の皆さまの交流促進活動を支援するなど、地域主体の持続可能な地域づくりを目指します。

地場産業の振興では、ターゲットに合わせた情報発信力の強化や地場製品のブランド力向上、ふるさと納税を通じた販路拡大により、地域の稼ぐ力の向上に取り組めます。

萩ジオパークの推進に当たっては、萩ジオパーク推進協議会を中心としてジオサイトの保全や環境整備、学習講座や人材育成を実施し、関係自治体や市民の皆様と一体となって自然と調和のとれた持続可能なまちづくりに取り組めます。

市民の皆様がデジタル技術の恩恵を享受できる社会を目指し、電子契約の導入やオンライン申請システム等の活用により行政サービスの利便性を向上させるとともに、高齢者等がスマートフォンの利用方法を気軽に相談できる機会を提供します。

◆主要事業の概要

■士林区友好都市交流10周年記念事業（417万6千円）

（担当課：企画政策課）

令和8年度に友好都市交流10周年を迎える^{たいぺい しりん}台北市士林区との記念事業として、萩市民号の派遣に併せ、台北市近隣自治体を中心としたシティプロモーションを実施します。

事業内容：萩市長表敬訪問・萩市民号派遣
^{たいぺい しりん}台北市士林区、^{ぎらん}宜蘭市、^{しんちく}新竹市へ派遣
シティプロモーション
交流会の開催、台北国際観光博覧会への出展
公式訪問団の受入（予定）
表敬訪問の受入・歓迎レセプションの開催

実施期間：萩市長表敬訪問・萩市民号派遣 令和8年5月19日～22日（予定）
台北国際観光博覧会への出展 令和8年5月22日～25日（予定）

〔財源内訳〕 一般財源 417万6千円

■＜新規＞石巻市友好都市交流10周年記念事業（100万1千円）

（担当課：企画政策課）

令和8年度に友好都市交流10周年を迎える宮城県石巻市との記念事業として、市長、市議会議長などによる石巻市表敬訪問及び萩市内イベントにおける音楽交流事業を実施します。

事業内容：萩市長・萩市議会議長などによる表敬訪問
宮城県石巻市
音楽交流事業
アニソン歌手によるライブパフォーマンス
萩ふるさと大使「きただにひろし」氏
石巻市観光大使「遠藤正明」氏
石巻市特産物等のPR

実施期間：萩市長・萩市議会議長などによる表敬訪問
令和8年7月30日～8月1日（予定）
音楽交流事業 未定

〔財源内訳〕 一般財源 100万1千円

■自治体DX推進事業（4,512万8千円）

（担当課：DX推進室）

デジタル社会の実現に向けて国が策定した「自治体DX推進計画」を踏まえ、デジタル技術の活用による行政サービスの利便性向上や行政事務の効率化を図るとともに、全ての市民がデジタル技術の恩恵を受けることができるよう、相談窓口の運営などを行います。

事業内容：統合型グループウェアの更新
電子契約システムの導入
ノーコードツール、生成AIサービスの運用
スマホよろず相談所の運営等

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 950万円、雑入 191万8千円
一般財源 3,371万円

■移住促進対策事業（5,170万6千円）

（担当課：おいでませ、豊かな暮らし応援課）

萩市への移住を促進するため、「はぎポルト - 暮らしの案内所 - 」を核として、「空き家情報バンク」による空き家の利活用を図るとともに、移住者の相談にきめ細かく対応し、円滑な移住を支援します。

事業内容：定住総合相談窓口の運営
「はぎポルト - 暮らしの案内所 - 」に、移住支援員3名と移住就業コーディネーター1名を配置し、萩への移住をサポート

空き家情報バンクの利活用の促進及び若者・子育て世代の移住定住の促進
萩暮らし応援事業補助金（改修費又は家賃の一部補助）
がんばるリノベ応援事業補助金（自ら行う改修費の一部補助）
空き家家財道具等処分事業補助金
空き家賃貸住宅化促進事業補助金（改修費の一部補助）
空き家ハウスクリーニング事業補助金
若者・子育て世代移住応援事業補助金（賃貸住宅の家賃の一部補助）

デジタル技術を活用した移住定住の促進
移住定住情報ポータルサイト等を活用し全国に“萩暮らし”の魅力を発信
空き家情報バンク物件のバーチャル内覧、オンライン申請等

〔財源内訳〕 総務使用料 39万2千円、雑入 12万円、一般財源 5,119万4千円

■ふるさと寄附推進事業（1億7,810万円）

（担当課：産業戦略室）

萩市を応援してくださる市外在住の方々から寄附を広く募り、人材育成や特色あるまちづくりなど、萩市の発展に資する事業に活用するため、基金に積み立てを行います。

また、返礼品として萩市の地場産品等を贈り、市内ブランドの知名度アップや消費の拡大につなげます。

事業内容：ふるさと寄附に係るお礼の品等経費
あなたのふるさと萩応援基金積立金

〔財源内訳〕 商工費寄附金（ふるさと寄附推進事業費） 1億7,810万円

■ジオパーク推進事業（1,171万9千円）

（担当課：ジオパーク推進課）

萩ジオパーク推進協議会を中心に、「大地の成り立ちと人の暮らしのつながり」への理解を深めるため、各種講座やイベント、ツアー等を実施します。また、住民のジオパーク活動を経済活動へと結びつけるとともに、多角的な情報発信と交流を促進します。

さらに、ジオサイトや拠点施設の管理、案内看板の整備を通じて観光客などへの利便性向上を図るほか、日本ジオパーク再認定審査への対応を行います。

事業内容：ジオパーク活動の支援
萩ジオパーク推進協議会が実施する講座や人材養成、イベント等の開催
市民団体等が行うジオパーク活動に対する支援

ジオサイトの環境保全及び拠点施設の運営等
龍鱗郷（上の原地区柱状節理）、畳ヶ淵、弥富溶岩露頭等の環境整備
笠山山頂展望台の運営

ジオサイトの看板整備
龍鱗郷、道永の滝の案内看板の整備

日本ジオパーク再認定審査への対応
萩ジオパーク推進協議会が受ける4年に一度の再認定審査への対応

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 68万7千円、財産貸付収入 21万6千円
合併特例基金繰入金 80万円、一般財源 1,001万6千円

総 合 事 務 所

◆予算の概要

総合事務所管内では、人口減少や少子高齢化を背景に様々な課題が表面化しています。

課題の解消を図る取組を推進するに当たっては、地域の実情を把握する総合事務所が主体となって、住民の皆様のご意見を反映し、計画的に事業に取り組むことが効果的です。

こうしたことから、総合事務所予算は、各地域に設置いたしました地域事業懇話会のご意見をお聴きしながら作成した「地域事業計画」を基に編成しました。

花を活用し地域の魅力化を推進する「地域彩り交流促進事業」については、全地域で引き続き実施し、交流人口の拡大を図ります。

また、地域活性化の拠点となる各地域の道の駅等の環境を整備するとともに、体育施設や避難所など住民の皆様が日常的に利用される公共施設を改修し、利便性の向上を図ります。

◆主要事業の概要

《川上総合事務所》

■＜新規＞萩阿武川温泉公園等施設改修事業（723万1千円）

施設利用者の利便性向上のため、萩阿武川温泉公園及び池ヶ原交流促進施設の設備等を改修します。

事業内容：萩阿武川温泉公園
公衆トイレの洋式化、外灯のLED化等

池ヶ原交流促進施設（バンガロー）
IH調理器への取替、トイレ便座の改修

[財源内訳] 市債 720万円、一般財源 3万1千円

《田万川総合事務所》

■＜新規＞龍鱗郷看板整備事業（44万2千円）※再掲

萩ジオパークの一つである「龍鱗郷」を広く周知するとともに、ジオパーク活動の推進を図るため、老朽化した案内看板を整備します。

設置箇所：2箇所（県道からの入口、駐車場）

[財源内訳] 合併特例基金繰入金 42万円、一般財源 2万2千円

■江崎の活魚&珍魚リサーチ事業（20万5千円）

江崎漁港で水揚げされたサメなどの珍魚や、一般的に水揚げされるアジやサバなどを見て、触れることで、自然への興味を持つ第一歩となるような機会づくりを行います。

事業内容：漁場となった地形をジオの視点から学習
定置網の構造や大きさを学習
水揚げされた魚の種類を学習

実施時期：10月（予定）

[財源内訳] 一般財源 20万5千円

《むつみ総合事務所》

■地域彩り交流促進事業（260万8千円）

伏馬山山麓に菜の花及びひまわりを咲かせる「むつみフラワーロード」の取組を継続するとともに、むつみ農産物加工販売施設萩・むつみの恵（キッチンばぁ〜ば）、むつみ昆虫王国などと連携したイベントを開催し、交流人口の拡大を図ります。

開花時期：菜の花 3～4月
ひまわり 7～8月

イベント実施日：むつみ菜の花まつり 令和8年4月12日（日）（予定）
むつみひまわりロードフェスタ 令和8年8月2日（日）（予定）

[財源内訳] 合併特例基金繰入金 257万円、一般財源 3万8千円

■道の駅等維持管理事業（206万8千円）

施設利用者の安全確保のため、老朽化している転落防止柵を改修します。

実施場所：農産物加工販売施設「こいこいがんこ村」駐車場

[財源内訳] 市債 200万円、一般財源 6万8千円

《須佐総合事務所》

■＜新規＞須佐湾エコロジーキャンプ場改修事業（333万9千円）

平成8年の開設から約30年が経過する須佐湾エコロジーキャンプ場は、施設の老朽化が進んでいることから、須佐地域における観光・集客の拠点となる特色あるキャンプ場を目指すとともに、持続可能な施設運営を図るため、施設の改修を行います。

事業期間：令和8～10年度

事業内容：設計業務（令和8年度）
コテージ棟 宿泊施設改修工事等（令和9年度予定）
ロッジ棟 宿泊施設改修工事、Wi-Fi 整備等（令和10年度予定）

[財源内訳] 市債 330万円、一般財源 3万9千円

■公民館等トイレ改修事業（781万1千円）

地域活動の拠点であるとともに、指定避難所でもある須佐公民館及び須佐文化センターの利便性向上のため、トイレを改修します。

[財源内訳] 市債 780万円、一般財源 1万1千円

《旭総合事務所》

■＜新規＞国指定史跡「萩往還」改修事業（274万5千円）

年間を通して多くの観光客が訪れる、国指定史跡「萩往還」への来訪者の利便性向上を図るため、案内看板（道標）を改修します。

実施箇所：42箇所

[財源内訳] 合併特例基金繰入金 270万円、一般財源 4万5千円

《福栄総合事務所》

■地域彩り交流促進事業（153万1千円）

福栄地域の拠点施設である道の駅「ハピネスふくえ」及び大板山たたら製鉄遺跡周辺に花を植栽し、交流人口の拡大を図るとともに、良好な景観づくりに努めます。

事業主体：福栄彩りの花交流促進協議会
※花卉生産者、地域関係団体等で構成する任意団体

事業内容：道の駅「ハピネスふくえ」
色とりどりのベルギーマム（西洋菊）600鉢の展示
※開花期間（10～11月）

大板山たたら製鉄遺跡周辺
花菖蒲の補植、周辺環境整備

[財源内訳] 合併特例基金繰入金 150万円、一般財源 3万1千円

市 民 部

◆予算の概要

市民部では、市民の生活に直接かかわる部署として、生涯を通して健やかに、かつ安全・安心に生活できる、持続可能なまちづくりを推進します。

そこで、地域の課題解決に大きな役割を果たすことが期待される市民活動や、地域住民が主体となり自治活動等を行うコミュニティ組織を支援するとともに、安全・安心な地域づくりのため、関係機関や団体と協力して、交通安全運動、防犯活動、暴力追放運動を推進し、犯罪被害者等の支援に取り組みます。

また、消費生活やDV相談に関する各種相談に対応する専門の相談員を引き続き配置し、複雑・専門化する各種相談の解決に取り組みます。

市民総合窓口では、キャッシュレス決済や申請書作成システムを活用し、市民の利便性向上及び負担軽減を図るとともに、マイナンバーカードの円滑な交付などに取り組みます。

国民健康保険については、マイナ保険証の継続的な周知広報に努めるとともに、生活習慣病予防や健康維持のための「特定健康診査受診率の向上」、疾病の重症化を防ぐための「糖尿病性腎症重症化予防」及び医療費削減のための「ジェネリック医薬品の使用促進」など、引き続き重点的な取組を進めます。また、令和6年度から3年間のモデル事業として、後期高齢者健康診査に心電図検査を追加し、山口大学医学部及び萩市医師会との連携の下、今後の心疾患・脳血管疾患の予防医療に役立ててまいります。

快適な環境づくりと「美しいまち・萩」を未来につなげられるよう、市民、事業者、行政の連携により、カーボンニュートラルの実現に向けて、ごみの減量、環境教育、環境美化の活動に取り組みます。

廃棄物処理については、適切な運営・維持管理に努めるとともに施設の一元化や広域処理を推進し、将来に向けた適切なごみ処理体制を構築します。

住民生活を支える行政サービスの提供に必要な財源である市税については、納税者から信頼される公平かつ適正な賦課・徴収に努めます。加えて、曜日や時間を気にすることなく、また、より簡単にキャッシュレスでも納付できるよう、コンビニエンスストアやスマートフォンでの決済、QRコードの利用など、引き続き、納付環境の整備・拡大を図り、納税者の利便性向上に取り組みます。

◆主要事業の概要

■後期高齢者心電図検査モデル事業（202万2千円）

（担当課：市民課）

萩市医師会及び山口大学医学部と連携し、後期高齢者の健康診査に心電図検査を追加して脳卒中や心疾患などの循環器疾患の早期発見と予防・治療につなげるとともに、その効果を研究・検証します。

実施期間：令和6～8年度

個別健診：1,400件

集団健診：105件

〔財源内訳〕 一般財源 202万2千円

■＜新規＞萩やすらぎ苑斎場待合室改修事業（200万2千円）

（担当課：環境衛生課）

平成10年から稼働している萩やすらぎ苑斎場において、待合室の段差解消によるバリアフリー化と畳のフローリング化を行い、高齢者や障がいのある方も利用しやすい環境を整備します。

〔財源内訳〕 市債 200万円、一般財源 2千円

福 祉 部

◆予算の概要

福祉部では、「5つの良し」のまちづくりに掲げる基本政策のうち、「住んで良しのまちづくり」、「育てて良しのまちづくり」の実現に向けた施策を展開します。

一つ目の「住んで良しのまちづくり」を推進するため、高齢者や障がい者に配慮し、全ての市民が誇りと希望を持って暮らし続けることができるよう、医療・介護・福祉・保健等の関係機関が連携し充実した、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指し、個性や特性を認め合いながら互いに支え合う、自立と協働による地域社会の実現に向けた取組を進めます。

高齢化の進展への対応については、高齢者の移動手段の確保と利用しやすい環境の整備を図り、路線バスの運賃や離島航路の船賃の軽減を継続して行います。また、介護分野の人手不足は深刻であり、介護人材の確保は喫緊の課題であることから、引き続き、市独自の助成制度を活用し、資格取得支援などを通じて人材の確保と育成に取り組みます。

また、高齢者の難聴が生活の質の低下や認知症リスクの上昇につながることから、身体障害者手帳の対象とならない高齢者を対象に補聴器購入費助成制度を新たに創設し、難聴への早期対応と社会参加の促進を図ります。

障がい者の社会参加促進については、相談支援体制の充実を図るとともに、各関係機関と連携しながら雇用・就業支援、福祉サービスの推進を行います。

二つ目の「育てて良しのまちづくり」を推進するため、安心して子どもを産み育てたいと思えるよう、子育て環境の充実に向けた取組を進めます。

子育て世帯の経済的支援については、第1子保育料及び保育所等における給食費を無償化するとともに、子育て世帯・多子世帯応援誕生祝金や、対象年齢を高校生まで拡充した医療費助成制度なども継続して行います。

また、すべての子育て家庭に対し、就労要件を問わず柔軟に利用できる、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）を実施します。

あわせて、児童館など県内でもトップクラスの環境を誇る子育て支援拠点やこどもの遊び場、居場所づくりなど、子育て環境の充実を図ります。

◆主要事業の概要

■＜新規＞福祉施設LED照明設置事業（1,286万8千円）

（担当課：福祉政策課、高齢者支援課、福祉支援課）

照明器具をLED照明に改修することにより、施設の環境改善及び省エネルギー化による費用の削減を図ります。

事業内容：設計業務

対象施設：12施設

- ・相島生活館
- ・萩・福祉複合施設かがやき
- ・見島ふれあいセンター
- ・無田ヶ原口高齢者生活支援ハウスおとすれ
- ・鶴江介護予防センター
- ・浜崎介護予防センター
- ・むつみ地域世代間交流拠点施設
- ・中津江・福祉複合施設なごみ
- ・須佐・福祉複合施設やまびこ
- ・むつみ高齢者生活支援ハウス
- ・越ヶ浜介護予防センター
- ・障がい者福祉作業所つばき園

※上記以外の施設は、次年度以降に順次実施予定

〔財源内訳〕市債 890万円、雑入 44万6千円、一般財源 352万2千円

■＜新規＞障がい者支援施設整備費補助事業（920万円）

（担当課：福祉支援課）

障がい者の日中活動の場や自立に向けた非雇用型の就労継続支援B型の事業及び放課後等デイサービス事業を行うため、施設整備に必要な経費を補助します。

〔財源内訳〕市債 920万円

■＜拡充＞障がい者福祉タクシー助成事業（804万円）

（担当課：福祉支援課）

市内に居住する障がい者の社会参加促進のため、タクシー等を利用する際の利用料金の一部を助成します。これまで1乗車当たりの使用枚数を2枚以内としていたものを、3枚まで使用できることとすることで、利用率の向上を図り、障がい者の積極的な社会参加を支援します。

対象者：市内に住所を有し、一定以上の障がいを有する方で、自動車税・軽自動車税の減免を受けてない方

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 790万円、一般財源 14万円

■介護人材確保・育成事業（188万8千円）

（担当課：高齢者支援課）

市内の介護サービス事業所等における介護人材の確保と育成を図るため、各種資格取得に係る受講・受験費用を助成します。

補助対象：市内の介護サービス事業所等に勤務している方
上記事業所等に入職を希望される方

| | |
|-----------------|-------|
| 対象経費：介護職員初任者研修 | 5万円 |
| 介護福祉士実務者研修 | 8万円 |
| 介護福祉士国家試験 | 1万5千円 |
| 介護支援専門員実務研修受講試験 | 9千円 |
| 介護支援専門員実務研修 | 3万円 |
| ※金額は助成限度額 | |

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 180万円、一般財源 8万8千円

■＜新規＞高齢者補聴器購入費助成事業（480万円）

（担当課：高齢者支援課）

加齢による聴力機能の低下により、日常生活に支障がある高齢者に対し、社会参加を促進し、認知症の予防や引きこもりの防止を図るため、補聴器の購入に要する費用の一部を助成します。

助成対象：市内に住所を有する65歳以上の方
聴覚障害に係る身体障害者手帳の交付対象でない方
両耳の聴力レベルが中等度（40デシベル以上70デシベル未満）の方
医師から補聴器の使用が必要と認められた方

補助率：購入費の2分の1（上限3万円）

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 480万円

■子育て世帯応援誕生祝金事業（1,400万円）

（担当課：子育て支援課）

次世代を担う子どもたちの誕生を祝福し、経済的支援を図り、子育てにやさしい魅力あるまちづくりを推進するため、新たに出生する子どもを持つ世帯に対し、市内共通商品券を支給します。

対象者数：140人（見込み）

支給額：10万円相当の市内共通商品券

〔財源内訳〕 あなたのふるさと応援基金繰入金 1,400万円

■多子世帯応援誕生祝金事業（990万円）

（担当課：子育て支援課）

多子世帯の経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てることができるよう、強力に後押しするとともに、子育て世帯の移住・定住の促進を図るため、令和4年4月1日以降に出生した第2子以降の子どもを持つ世帯に対し、祝金を給付します。

| 時期 対象者 | 1歳に達した時 (保育園入園前) | 6歳に達した時 (小学校入学前) | 12歳に達した時 (中学校入学前) | 総額 |
|-----------|---------------------|---------------------|----------------------|------|
| 第2子 | 10万円 | — | — | 10万円 |
| 第3子 | 10万円 | 10万円 | 20万円 | 40万円 |
| 第4子以降 | 30万円 | 30万円 | 30万円 | 90万円 |

給付時期：1歳、6歳、12歳に達する誕生日以降

対象者数：第2子 38人、第3子 28人、第4子以降 11人（見込み）

給付方法：現金

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 990万円

■＜新規＞乳児等通園支援事業（655万2千円）

（担当課：子育て支援課）

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対し、多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため、1か月当たり一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）を実施します。

事業内容：就労要件を問わず、月10時間以内の定期的な預かりを実施

対象者：保育施設に在籍していない0歳6カ月以上満3歳未満の子ども

対象施設：保育所、認定子ども園、事業所内保育所等

〔財源内訳〕 民生費国庫負担金 491万4千円、民生費県負担金 81万9千円
一般財源 81万9千円

■ <拡充> 第1子保育料及び保育所等給食費無償化事業

(5,286万4千円)

(担当課：子育て支援課)

子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するため、第1子の保育料及び保育所等の給食費を無償化します。

制度概要：<現行>

| 費用 | 対象となる子ども | 無償化の範囲 |
|-----|----------|------------|
| 保育料 | 0～2歳児 | 第2子以降 |
| 給食費 | 3～5歳児 | 同時入所の第2子以降 |

<拡充後>

| 費用 | 対象となる子ども | 無償化の範囲 |
|-----|----------|-------------|
| 保育料 | 0～2歳児 | 入所するすべての子ども |
| 給食費 | 3～5歳児 | 入所するすべての子ども |

事業内容：①第1子保育料無償化に伴う、保護者負担金の減額

保育所運営費保護者負担金【歳入 △2,662万6千円】

民間保育所 △1,634万4千円

公立保育所 △1,028万2千円

②給食費無償化に伴う、入所児童副食費の減額

公立保育所【歳入 △630万8千円】

③民間保育所等の児童に係る保護者負担金及び給食費の無償化に伴う、

民間保育所運営費の増額【歳出 1,993万円】

[財源内訳] 一般財源 1,993万円

(民生費負担金 △2,662万6千円、雑入 △630万8千円)

■＜新規＞短期集中いきいき生活支援事業（198万2千円）

（担当課：地域包括支援センター（介護保険事業特別会計））

高齢者が住み慣れた地域や自宅で、できる限り自立した生活を送ることができるよう短期集中的に支援を行います。

事業内容：フレイル状態にある高齢者の自宅に、リハビリテーション専門職が訪問し、3～6か月の短期間で、ADL（日常生活動作）などの改善に向けた支援を実施

対象者：要支援者等

〔財源内訳〕 地域支援事業交付金 104万2千円、一般財源 94万円

保 健 部

◆予算の概要

「5つの良し」のまちづくりに掲げる「住んで良しのまちづくり」、「育てて良しのまちづくり」の実現に向け、医療・介護・福祉・保健等の関係機関の連携により、各種施策に取り組みます。

萩保健医療圏では、医師や看護師等の医療従事者の不足や高齢化が深刻な課題であり、将来にわたり市民が安心して暮らしていくためには、救急医療をはじめ医療体制の確保が不可欠です。中でも看護師不足は喫緊の課題であり、市外等から二次救急輪番病院に新たに勤務する看護師等を対象とした、市設置の看護師等住宅を運営するほか、萩保健医療圏の医療機関に就職する意思のある看護学生を対象とした奨学金の給付など、看護師確保対策に取り組みます。

中核病院の形成に向けては、引き続き取り組みを進めるとともに、萩市医師会や山口県などの関係機関と連携し、救急医療やへき地医療等の医療提供体制の維持に努めます。

健康づくりでは、いつまでも健康で元気に暮らすことができるよう、節塩や健康体操などの生活習慣の改善や疾病予防をはじめ、小児期から高齢期に至るまで、生涯を通じた健康づくりを推進します。

また、萩市では県内の他の市町と比べ、循環器病（心疾患及び脳血管疾患）で亡くなる割合が高いため、「高血圧ゼロ」を目指した取組を推進し、健康寿命の延伸を図ります。

妊娠・出産・子育てについては、萩市こども家庭センターHAGU（はぐ）を総合相談窓口として、出産・子育て応援事業により妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援により、子育ての不安を解消し、より一層安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。

産後ケアについては、出産後の母親の不安に対応できるよう、短時間型のデイケアサービスを新設し、利用しやすい環境整備を進めます。

感染症対策については、妊婦を対象としたRSウイルスワクチンが新たに定期接種化の見込みであることから、関係機関と連携し、定期予防接種の円滑な実施に取り組みます。

◆主要事業の概要

■＜拡充＞予防接種事業（RSウイルスワクチン）（450万円）

（担当課：健康増進課）

RSウイルスワクチンが予防接種法上の定期接種（A類疾病）に位置づけられる（見込み）ことから、妊婦に対する予防接種を実施します。

対象者：妊娠28～36週の妊婦

事業内容：医療機関において予防接種を実施

接種費用：自己負担なし

〔財源内訳〕 一般財源 450万円

■＜拡充＞こども家庭センター運営事業（1,572万2千円）

（担当課：健康増進課）

妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対し、総合的相談や支援を行うワンストップ拠点として、萩市こども家庭センターHAGU（はぐ）を運営するとともに、子育て世代のニーズに広く対応するため、各種支援を実施します。

産後ケア事業においては、出産後の母親の不安に対応できるよう、短時間型のデイケアサービスを新設します。

事業内容：ケアプランの作成

周産期ケアの拡充

助産師等の母子保健コーディネーターによる出産準備支援
産後の乳房ケアや授乳指導、妊産婦訪問等

＜拡充＞産後ケアサービスの実施（市内医療機関等に委託）

ショートステイ、デイケア、ケア専門家の派遣

産後ケア緊急支援事業

乳児のショートステイ、デイケア、ケア専門家の派遣
家事援助ヘルパー派遣

母子アプリ「はぎHAGU」による妊娠から出産、子育てまでの情報発信

〔財源内訳〕 衛生費国庫補助金 922万円、衛生費県補助金 247万2千円
一般財源 403万円

■妊婦のための支援給付事業（1,412万2千円）

（担当課：健康増進課）

全ての妊婦・子育て家庭が孤立感や不安感を抱くことなく、安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで、妊婦等包括相談支援と経済的支援を一体的に実施します。

対象者：妊婦

事業内容：妊婦等包括相談支援

出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等
面談時期 妊娠届出時、妊娠8か月前後、出生届出後

経済的支援

妊婦であることの認定後 5万円（妊婦1人当たり）

妊娠しているこどもの人数の届出後 5万円（妊娠しているこども1人当たり）

〔財源内訳〕 衛生費国庫補助金 1,406万円、衛生費県補助金 3万円
一般財源 3万2千円

■看護師等住宅運営事業（720万円）

（担当課：地域医療推進課）

市外等から萩保健医療圏の二次救急輪番病院に新たに勤務する看護師等を確保するため、看護師等住宅を運営します。

事業内容：看護師等住宅の運営

対象施設：グランド萩イースト（旧萩グランドホテル東館）

部屋数：9部屋（ワンフロア）

建物借上料：6万円～10万円／1室・月当たり

個人負担金：1万円～1万7千円／1室・月当たり

〔財源内訳〕 衛生使用料 121万2千円、一般財源 598万8千円

■看護人材育成奨学金事業（630万円）

（担当課：地域医療推進課）

看護師確保対策として、市内医療機関に就職する意思のある萩准看護学院、山口県立萩看護学校及び市外の看護師を養成する大学等の学生に奨学金を給付します。

給付額：萩准看護学院 年額 30万円
山口県立萩看護学校 年額 30万円
市外の看護師を養成する大学・学校又は養成所 年額 60万円

支給期間：萩准看護学院 2年
山口県立萩看護学校 3年
市外の看護師を養成する大学・学校又は養成所 規定の修学期間

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 630万円

■周産期医療体制確保事業（3,510万円）

（担当課：地域医療推進課）

こどもを市内で安心して生み育てられる環境を維持するため、萩保健医療圏域内唯一の分娩取扱医療機関に対し、運営継続に必要な支援を行います。

対象施設：萩保健医療圏域内の分娩取扱医療機関

支援内容：分娩数の減少に応じて補助金を支出

〔財源内訳〕 保健衛生費負担金 224万8千円、一般財源 3,285万2千円

■＜新規＞院内薬局設置運営事業（2,259万9千円）

（担当課：地域医療推進課（休日急患診療事業特別会計））

萩市休日急患診療センターの受診患者が、診療後にセンター内で薬の受け取りができるよう、これまでの院外処方から院内処方に変更します。

設置場所：萩市休日急患診療センター内

開設日：令和8年9月（予定）

運営日時：萩市休日急患診療センター診療日（日曜日、祝日及び年末年始）
午前9時～午後10時

〔財源内訳〕市債 230万円、一般財源 2,029万9千円

農 林 水 産 部

◆予算の概要

豊かな自然と食を支えてきた萩市の基幹産業である農林水産業は、世界的な気候変動の影響や資材等の物価高騰の常態化により、予断を許さない状況が続いています。

また、過疎、少子高齢化に伴う人口減少等による経営体数の大幅な減少は、地域社会や国土保全といった多面的機能の維持さえ困難となりかねない喫緊の課題となっています。

こうした難局を乗り越えるため、担い手の確保、育成、定着はもとより、省力化技術の導入やブランド力の強化、高付加価値化による収益性の向上など、限られた担い手でも効率的に所得を確保できる経営モデルの構築を支援し、将来にわたり持続可能な農林水産業の確立を目指します。

農業分野においては、生産者の高齢化や後継者不足に伴い生産量や販売額が減少傾向にある産地の維持・再興を目指すとともに、資材価格等の高騰により新たな投資が困難になっている農業者の負担軽減を図るため、県等が実施する農業用施設等の導入に対する補助事業を対象に、萩市独自の上乗せ支援制度を創設します。

加えて、産地縮小の要因であり、萩市の農業における大きな課題の一つである担い手や後継者不足の解消を図り、農業・農村の持続的な発展につなげるため、引き続き、意欲のある若者や移住就農者など多様な担い手の確保、育成及び定着に取り組みます。

また、昨年策定した「萩市有機農業等推進計画」に基づき、推進協議会を設置し、萩市の実情に応じた有機農業等への取組方針を協議しつつ、環境にやさしい農業の推進に努めます。

林業分野においては、「次世代まで幸せになる林業」を目指し、森林環境譲与税を効果的に活用して、森林団地の形成と適正な森林経営管理を推進し、林業経営体や人材の育成を図るとともに、市民の皆様が森林や地域産木材を身近に感じる機会を創出し、森づくり・木づかい・人づくりに総合的に取り組みます。

水産業分野においては、漁業者の所得向上と担い手の確保・育成を図るため、萩の魚の価値向上や新たな販路の構築及び市内外での消費拡大を推進するとともに、効果的な栽培漁業や藻場保全活動など、資源の維持管理にも引き続き取り組みます。

第一次産業の基盤である農林水産業施設においては、近年多発する集中豪雨などによる自然災害に備えた防災・減災対策や、老朽化が進む施設を計画的に改修する長寿命化対策を実施し、生産性の向上と安全・安心な生産基盤の確立に努めます。

◆主要事業の概要

■＜新規＞環境にやさしい農業推進対策事業（500万9千円）

（担当課：農政課）

環境にやさしい持続可能な農業の実現に向け、土づくり、資材の購入、有機JAS・GAP認証取得を総合的に支援するとともに、生産者や消費者に対する有機農業等への理解促進に向けた取組を展開します。

事業内容：（仮称）有機農業等推進協議会の開催

「萩市有機農業等推進計画」に基づき、有機農業等の推進を図るため、農業者、流通・販売者、消費者等による協議会を設置

有機農業等理解促進事業

有機農業等への理解促進を図るためのセミナー等の開催

土づくり対策事業

支援内容 堆肥・緑肥の購入費の一部を補助

補助率 購入費の1/3以内

環境にやさしい農業資材導入支援事業

支援内容 環境にやさしい農業資材の購入費用の一部を補助

補助率 購入費の1/2以内

有機JAS・GAP認証取得支援事業

支援内容 有機JAS認証、GAP認証の取得費用の一部を補助

補助率 対象費用の1/2以内

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 430万円、一般財源 70万9千円

■ <拡充> 農業中心経営体育成支援事業（1,500万円）

（担当課：農政課）

地域農業の担い手となる認定農業者（個人・法人）や認定新規就農者等の収益力向上による経営強化を目指す取組を支援します。

事業内容：機械・施設整備及び空き果樹園地の再整備等に要する費用を補助

補助額：（個人）49歳以下 補助対象費用の1/2以内（上限額300万円）
（個人）50歳以上 補助対象費用の1/3以内（上限額300万円）
農業法人 補助対象費用の1/3以内（上限額300万円）

[財源内訳] 合併特例基金繰入金 1,500万円

■ <拡充> 農業担い手経営強化支援事業（1,856万8千円）

（担当課：農政課）

農業関係組織等が新規就農者を受け入れるとともに、産地の生産力向上に必要な農業用機械・施設を整備する取組を支援します。

また、地域の中核となる担い手や集落営農法人等が行う、経営改善、規模拡大及び生産コストの削減に向けた農業用機械・施設を整備する取組を支援します。

なお、産地の生産力向上に対する支援事業においては、萩市独自の追加支援を行います。

事業内容：農業用機械・施設の整備に必要な費用を補助

産地の生産力向上に対する支援

事業実施主体：山口県農業協同組合

該当産地：山口あぶトマト（夏秋トマト）

事業内容：農業用施設（パイプハウス、養液土耕システム）

負担割合：県1/3、市1/3、事業主体1/3

地域の中核的担い手に対する支援

事業実施主体：認定農業者

事業内容：農業用機械（コンバイン等）

負担割合：国3/10、事業主体7/10

集落営農法人等に対する支援

事業実施主体：農業法人

事業内容：農業用機械（ラジコン式草刈機）

負担割合：県1/3、事業主体2/3

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 1,303万5千円、一般財源 553万3千円

■＜新規＞危険鳥獣被害防止対策事業（79万4千円）

（担当課：農政課）

人の日常生活圏（住宅地周辺、農地や河川敷、倉庫等の建物内）に危険鳥獣（クマ・イノシシ）が出没した際、萩市が依頼したハンター等による銃猟を可能とする「緊急銃猟制度」の実施に必要な備品等の購入や出没に伴うパトロール、追い払い活動等への従事に対し、報酬を支払います。

事業内容：緊急銃猟の実施に必要な備品等の購入及び報酬の支払い
出没防止対策に必要な備品等の購入及び報酬の支払い

〔財源内訳〕 農林水産業費県補助金 63万1千円、一般財源 16万3千円

■次世代畜産総合振興事業（350万円）

（担当課：農政課）

認定農業者等に位置付けられた畜産農家及び法人等が、次世代を見据えた積極的な畜産経営を目指す取組を支援します。

事業内容：畜舎の増改築及び畜産用機械・施設整備等に要する費用を補助

補助額：畜舎増改築・施設整備等
補助対象費用の1／2以内（上限額300万円）

機械整備
補助対象費用の1／2以内（上限額50万円）

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 350万円

■＜新規＞森と創る未来へのチャレンジ事業（300万円）

（担当課：林政課）

萩市が有する豊富な森林資源の多様な活用と付加価値化を図るため、市民や市内の企業・団体等が行う、市内の森林資源を活用した新商品の開発や販売に向けた取組を支援します。

事業内容：森林資源を活用した商品開発・販売促進に係る費用を補助

補助額：補助対象費用の1／2以内（上限額 100万円／件・年）
1件あたり最長3年間

〔財源内訳〕 一般財源（森林環境譲与税） 300万円

■＜新規＞松くい虫被害木伐倒駆除事業（624万4千円）

（担当課：林政課）

松くい虫被害の拡大防止や景観の維持等を図るため、市内の私有地における、松くい虫被害による枯れ松の伐倒駆除を実施します。

〔財源内訳〕 一般財源（森林環境譲与税） 624万4千円

■旬の地魚がおいしいまち・萩推進事業（110万8千円）

（担当課：水産課）

「食べたい 行きたい 旬の地魚がおいしいまち・萩」を目指し、漁業者の所得向上や消費者ニーズを満たす魚の質の向上を図るために実施する事業を支援します。

事業主体：旬の地魚がおいしいまち・萩推進協議会

事業内容：活〆ラベル鮮魚や水産加工品の販路構築
活〆ラベル認定講習会の開催
低利用魚や未利用部位を活用したグルメキャンペーンの開催

〔財源内訳〕 あなたのふるさと萩応援基金繰入金 110万円、一般財源 8千円

■ <新規>水産業施設環境整備補助事業（189万3千円）

（担当課：水産課）

山口県漁業協同組合が実施する、水産業施設環境整備事業に対し、支援します。

【製氷機整備事業】

実施場所：見島漁港本村地区

事業内容：荷さばき所に製氷機を設置

補助率：1／4

総事業費：839万2千円（事業費上限額500万円）

【海水冷却装置設置事業】

実施場所：萩地方卸売市場

事業内容：市場内の活魚槽に海水冷却装置を設置

補助率：1／4

総事業費：257万円

[財源内訳] 市債 180万円、一般財源 9万3千円

■＜新規＞チャレンジ漁業総合支援事業（518万5千円）

（担当課：水産課）

海洋環境変化に対応するため新規漁業技術の習得支援や実践研修、必要となる漁業用設備導入に係る費用を支援します。

【ソフト支援（経営自立化支援事業から移行）】

新規漁業技術を習得する研修に要する経費や実践に要する経費を支援

研修指導者支援（補助率：県10/10）

1年目 6万円/月

研修経費支援（補助率：県1/2、市1/2）

1年目 12万5千円/月

実践経費支援（補助率：県1/2、市1/2）

2年目 10万円/月

3年目 7万5千円/月

【ハード支援】

新たに取り組む漁業に必要な漁業用設備等を導入する経費を支援

新規漁具等導入支援

事業費 100万円（上限額）

補助率 市1/4

[財源内訳] 農林水産業費県補助金 264万7千円、一般財源 253万8千円

■海岸保全事業（9,000万円）

（担当課：農林水産整備課）

海岸侵食による、背後地にある公共施設への影響回避及び海岸保全施設の長寿命化を図るため、海岸保全事業に取り組みます。

【玉江漁港 西ノ浜地区】

事業期間：令和8～13年度

総事業費：10億5,500万円

事業内容：測量・調査・設計業務（令和8年度）
整備工事（令和10～13年度）

【須佐漁港 青浦地区】

事業期間：令和8年度

事業内容：測量・調査・設計業務

[財源内訳] 農林水産業費国庫補助金 4,500万円、農林水産業費県補助金 935万円
市債 3,560万円、一般財源 5万円

商 工 観 光 部

◆予算の概要

観光施策では、令和8年10月から12月に開催される「山口デスティネーションキャンペーン」を最大限活用し、戦略的ターゲットである若年層やインバウンドに向けた誘客促進により、新たな観光需要の取り込みを図ります。

また、萩の歴史文化と親和性の高いソフトコンテンツを活用し、新たな来訪動機の創出と観光の裾野拡大を図ることで、持続可能な観光地域づくりを推進します。

さらに、現在のニーズを踏まえた観光サインの見直しやDXを活用した来訪者の動向分析等を行うことで、周遊性と利便性の向上やデータに基づく効果的な施策を展開します。

萩・明倫学舎では、観光の起点、産業振興、人材育成、交流及び文化振興の場としての機能強化を図ります。また、令和9年3月に開館10周年の節目を迎えることから、改めて萩観光の理解増進を図り、市全域の賑わいの創出につなげます。

文化財施策では、文化財の保存及び活用に関する総合的な計画である「萩市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財所有者、関係団体、地域及び行政が一体となって、歴史的建造物、史跡・天然記念物、まちなみなど、先達から受け継いだ萩の“おたから”の保存・活用に取り組みます。

さらに令和8年度は堀内地区、平安古地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから50周年を迎えることから、これまでのあゆみを振り返り、さらに魅力的なまちづくりを地域と行政が一体となって進めるため記念事業を実施します。

市と市民はもとより事業者や萩を想う方々が一体となり、萩まちじゅう博覧会の定着や新たな文化観光の取組を通じて「萩の“おたから”を活かした協働によるまちづくり・観光地づくり」を推進します。

まちじゅう博物館の中核でもある萩博物館では、萩の歴史・文化・自然に関する調査研究を進めつつ、社会の動きを捉えたテーマ設定による展示や関連イベントなどを行うとともに、様々な場面において地域や学校との連携を深めた活動を推進します。

長引く物価高騰に加え、少子高齢化に伴う人材不足などは、萩市の経済を支えている中小企業者の経営にも影響を与えており、依然として予断を許さない状況が続いています。

こうした中でも、事業継続や雇用の維持に加え、デジタル化による経営革新など生産性向上に取り組む事業者への支援を継続し、地域経済の活性化を図るとともに、求人と求職のマッチングや採用情報の発信支援などを行い、若い世代の就職・定住を促進します。

企業誘致では、IT企業などのサテライトオフィスの誘致を推進するとともに、IT関連企業や教育機関、経済団体、行政等で構成する「萩グローバルIT人材育成協議会」を中心として、高度デジタル人材の確保・育成に取り組みます。

また、「萩・テレワークライフビジョン」の実現に向けて、「転職なき移住」を促進するとともに、萩に居ながら都市部の企業に就職する「転出なき就職」を推進します。

交通施策では、移動手段の確保・維持は喫緊の課題であることから、「豊かな暮らしを創る交通ネットワーク」の実現に向けて、公共交通だけでなく、地域で支えるコミュニティ交通の推進などを組み合わせ、持続的な交通体系の構築を目指します。

◆主要事業の概要

■＜新規＞デジタル化による経営革新補助事業（1,939万4千円）

（担当課：商工振興課）

創業希望者や既存事業者に対し、相談対応やアドバイス、継続的なフォローアップなどの伴走型支援を行うとともに、セミナーの開催を通じてデジタル人材の育成やデジタル導入支援を推進することで、中小企業者の業務の生産性向上を図る取組を支援します。

〔財源内訳〕 一般財源 1,939万4千円

■＜拡充＞萩テレワーク就業マッチング強化学業（500万円）

（担当課：企業誘致推進課）

「萩・テレワークライフビジョン」の実現に向けて、テレワーク（在宅勤務・サテライトオフィス勤務）など多様な働き方による人材の採用・定着を目指す企業を「萩テレワーク推進パートナー企業」に認定し、求職者のスキル向上やマッチングイベントの開催などを通じて、柔軟な就業機会の拡大と新たな雇用の創出を図ります。

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 250万円、一般財源 250万円

■萩まちじゅう博覧会展開事業（文化観光推進事業）（133万4千円）

（担当課：まちじゅう博物館推進課）

これまでに再発見した地域のおたからを、萩のまちづくりにいかすために開催する「萩まちじゅう博覧会」を支援します。昨年度までに進めてきた、まち全体を使った分散型博覧会の体制づくりに加え、次なる展開として市内事業者と連携したオール萩の博覧会を目指すとともに、市外県外での認知度の拡大を目指します。

事業期間：令和5年度～

事業主体：萩まちじゅう博覧会実行委員会

事業内容：実行委員会が行う、飲食・販売・宿泊施設を巻き込んだ周遊・滞在企画による市内事業者のチームビルディングや、博覧会プログラムを提供する団体・事業者との連携強化のためのイベントを支援します。

〔財源内訳〕 商工費寄附金 100万円、一般財源 33万4千円

■＜新規＞萩城下町再生古地図制作事業（文化観光推進事業）（264万円）

（担当課：まちじゅう博物館推進課）

国の認定を受けた文化観光推進地域計画に基づき、萩における周遊観光の高付加価値化に向けたインフラ整備を進めます。

萩を訪れた観光客が自分の現在地が萩城下町のどこにあるのか、そこがかつてどういった場所であるのかを理解できるように、萩城下町絵図をベースとした現代版再生古地図を制作し、「今でも江戸時代の古地図を使って歩くことができる町」による文化観光の実現を図ります。

事業期間：令和8～11年度

事業内容：萩城下町再生古地図の制作

萩城下町絵図を現代地図の位置情報に合わせ補正した地図

萩城下町再生古地図及び関連情報の提供

各所のサインや説明版及びWeb（スマートフォン等）での提供

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 176万円、一般財源 88万円

■萩版DMO推進事業（3,250万円）

（担当課：観光課）

地域DMOである萩市観光協会が舵取り役となり、多様な関係者と連携しながら観光地経営戦略の策定を進めるとともに、「山口デスティネーションキャンペーン」によるプロモーション機会を最大限に活用し、若年層やインバウンドなど新たな層の誘客を促進します。

また、萩ならではの観光資源を効果的に活用するとともに、ソフトコンテンツを取り入れた取組や、戦略的・効果的な情報発信を展開し、宿泊客数の増加、来訪者満足度等の向上を図ります。

これらの取組を通じて、地域が一体となった持続可能な観光地づくりを推進します。

事業内容：情報発信、旅行商品造成支援、インバウンド対策

萩観光キャンペーン（DC、各種周年事業等）

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 200万円、一般財源 3,050万円

■＜新規＞観光マーケティング分析事業（429万円）

（担当課：観光課）

観光客の位置情報データ等を活用し、観光客の動向を把握するとともに、国内旅行者及び訪日外国人旅行者の人流データを取得・分析することにより、効果的なプロモーション戦略を立案し、観光客の誘客につなげます。

〔財源内訳〕 一般財源 429万円

■山口デスティネーションキャンペーン推進事業（70万4千円）

（担当課：観光課）

本年秋に、山口県において開催されるデスティネーションキャンペーンに向けて、地域DMOである萩市観光協会、JR及び山口県と連携し、歴史や自然、食、温泉、体験など萩ならではの魅力を存分に楽しんでいただけるよう、地域全体の観光誘客に努めます。

事業主体：おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会

事業内容：JRと連携した観光プロモーションや受入体制の整備
大都市圏PRイベントの開催
イベントガイドブック、ポスター、ノベルティ制作及び配布

〔財源内訳〕 一般財源 70万4千円

■＜新規＞観光サイン整備事業（文化観光推進事業）（684万2千円）

（担当課：観光課）

国の認定を受けた文化観光推進地域計画に基づき、萩における周遊観光の高付加価値化に向けたインフラ整備を実施します。

現在、既存の観光サインが周遊観光に十分対応できていないことから、萩・明倫学舎や萩博物館を起点とし、萩城下町や主要観光地を結ぶ大・中拠点の案内板及び誘導サインを体系的に配置する計画を策定します。また、その計画に基づき、既存サインの統合・撤去等を行い、観光サインの整備を総合的に進めます。

事業内容：観光サイン整備計画の作成（令和8年度）
既存サイン撤去及び新規サイン整備（令和9・10年度）

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 456万1千円、一般財源 228万1千円

■萩アクティビティパーク施設改修事業（7,409万9千円）

（担当課：観光課）

萩アクティビティパーク内のカートコース「ナチュラサーキット」やラジコンコース「龍門サーキット」など、旭地域の特色ある施設の充実を図るとともに、安定的かつ持続可能な施設運営を目指すため、施設の改修及び備品整備等を計画的に実施します。

事業内容：高圧ケーブル更新工事
ナチュラサーキット場舗装補修工事
ナチュラサーキット場電光掲示板改修工事
ナチュラサーキット場クラッシュパッド交換
キャンプ場ケビンハウスエアコン設置（5棟）

〔財源内訳〕 合併特例基金繰入金 70万円、市債 7,290万円
一般財源 49万9千円

■＜新規＞萩・明倫学舎展示多言語化事業（文化観光推進事業）（300万円）

（担当課：萩・明倫学舎推進課）

国の認定を受けた文化観光推進地域計画に基づき、萩における周遊観光の高付加価値化に向けたインフラ整備を進めます。

萩・明倫学舎常設展示コーナーにおいて、外国人に対しても展示品の価値や魅力を十分に伝えるとともに、理解増進を図るため、「テーマ」に沿った多言語解説を行います。

事業内容：多言語解説パネルの作成・設置
QRコード等を活用した多言語音声ガイドシステムの構築

〔財源内訳〕 商工費国庫補助金 200万円、一般財源 100万円

■ <新規>堀内地区・平安古地区重伝建選定50周年記念事業(264万円)

(担当課：文化財保護課)

堀内地区、平安古地区が、重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから、令和8年度で50周年を迎えることから、これまでのあゆみを振り返り、さらに魅力的なまちづくりを地域と行政が一体となって進めるため、記念事業の開催を支援します。

事業主体：重伝建地区記念事業実行委員会（仮称）

事業内容：堀内地区・平安古地区重伝建選定50周年記念シンポジウムの開催
重伝建地区周遊バスツアーの開催

[財源内訳] 雑入 250万円、一般財源 14万円

■ 萩博物館特別展等開催事業(2,118万9千円)

(担当課：萩博物館)

特別展を1回、企画展を3回開催します。夏は昨今社会問題となっている害獣等を特集した悪者生物に関する特別展を行います。また、秋は令和8年に昭和元年から起算して満100年を迎えることを記念し、昭和の風景や生活資料を通し、当時を振り返る企画展、冬は近年萩博物館に寄贈された幕末維新の人と書を中心とした新収蔵品展、次春には長州萩藩時代から近代の松林桂月に至るまでの萩出身の絵師たちの絵画展を開催します。

事業内容：特別展「悪者生物展」（仮）

開催期間 令和8年7月11日（土）～9月27日（日）

昭和100年企画展「萩の昭和大博覧会～たどる、ひもとく、萩レトロ～」

開催期間 令和8年10月10日（土）～12月13日（日）

企画展「新収蔵品展 幕末維新の人と書」

開催期間 令和8年12月26日（土）～令和9年2月28日（日）

企画展「ハギハク 絵画コレクションー萩を彩る絵師たちー」

開催期間 令和9年3月13日（土）～令和9年6月13日（日）

[財源内訳] あなたのふるさと萩応援基金 80万円、一般財源 2,038万9千円

土 木 建 築 部

◆予算の概要

地域経済の活性化を図るため、「山陰道（益田～萩間）」及び「小郡萩道路」の早期整備に向けた要望活動を推進するとともに、「大井・萩道路」における萩東インターチェンジ（仮称）からのアクセス道路の整備を進めます。

また、市道については、道路インフラの中長期的な維持管理計画に基づき、安全・安心な通行環境の確保に取り組みます。

河川については、地域の実情を踏まえた河川浚渫や護岸改修を計画的に実施し、頻発する自然災害への備えとして、災害の未然防止及び被害の軽減を図ります。

市営住宅については、地域の特性に応じた安心して暮らせる住環境を提供するため、計画的に長寿命化を図る改修を行うとともに、適正な維持管理に努めます。

空き家等の対策については、所有者等に適正な管理を促すとともに、老朽化した空き家の除却に対する支援を行い、倒壊等著しく保安上危険な建物については解体等の措置を行い、住環境の保全と安全・安心なまちづくりを推進します。

耐震対策については、地震による建築物等の倒壊による被害を未然に防止し、市民の生命及び財産を守るため、木造住宅の耐震化や通学路等に面する民間所有の既存ブロック塀等の除却を支援します。

地籍調査については、迅速な災害復旧や社会資本整備の円滑な事業促進に寄与するとともに、市民の大切な財産である土地を永続的に保全し、次の世代へ正確な地籍情報を提供するためにも着実に推進します。

都市計画については、都市計画マスタープランや立地適正化計画等、目指すべき都市づくりの将来像を実現するため、適切な土地利用の誘導を図ります。

また、交通拠点の一つである東萩駅の駅前広場は供用開始後40年以上が経過し、老朽化が進んでおり、魅力ある地域の拠点として再整備に取り組みます。

市全域を対象とした良好な景観形成については、萩市の貴重な歴史的、自然的景観の保全と賑わいの創出が出来るようバランスのとれた景観形成を推進するため、景観計画や屋外広告物等関係条例に基づく指導を実施します。

◆主要事業の概要

■＜新規＞道路側溝補修事業（5,000万円）

（担当課：土木課）

市道の側溝は経年劣化による破損やがたつきが発生している箇所が多数存在し、市民からの補修要望も多い状況であることから、計画的に補修工事を行います。

事業期間：令和8年度～

総事業費：3億円

全体計画：延長 4,200m

事業内容：施設整備工事 延長 850m

[財源内訳] 市債 5,000万円

■＜新規＞道路照明LED化事業（4,168万6千円）

（担当課：土木課）

道路照明を計画的にLED化し、照明の不点灯対策及び省力化を図ります。

事業期間：令和8～12年度

総事業費：4億6,052万円

全体計画：138基

事業内容：設計業務
道路照明LED化工事 35基

[財源内訳] 市債 4,160万円、一般財源 8万6千円

■＜新規＞舟戸小郷線落石防止対策事業（2,100万円）

（担当課：土木課）

川上地域の舟戸小郷線において、法面からの落石により、現在通行止めを行っている箇所について、安全対策工事を行います。

事業年度：令和8年度

総事業費：2,100万円

全体計画：延長 24m

事業内容：登記業務
落石防止対策工事

[財源内訳] 市債 2,100万円

■山陰道アクセス道路整備事業（4,500万円）

（担当課：土木課）

山陰道「大井・萩道路」の萩東インターチェンジ（仮称）から中心市街地や観光地への利便性の向上を図るため、アクセス道路を整備します。

事業期間：令和3年度～

総事業費：32億円

全体計画：延長 1,210m 道幅 15.0m

事業内容：電線共同溝予備設計業務
道路照明設計業務
水道管路移設設計業務
不動産鑑定業務
用地・工作物等調査業務
土地購入費

[財源内訳] 土木費国庫補助金 1,618万6千円、市債 1,080万円
一般財源 1,801万4千円

■万才園線道路整備事業（1,980万円）

（担当課：土木課）

観光客や市民の利便性の向上を図るとともに、冠水による通行障害を解消するため、萩城跡内にある道路の側溝改修及び未舗装部分の舗装を行います。

事業年度：令和5～8年度

総事業費：2,440万円

事業内容：設計業務（令和5年度）

舗装工事等 延長 315m 道幅 4.5m（令和8年度）

[財源内訳] 土木費国庫補助金 1,079万1千円、市債 900万円
一般財源 9千円

■羽賀線道路整備事業（3,000万円）

（担当課：土木課）

国道191号（越ヶ浜～大井）における越波や交通事故等による交通規制が発生した際の緊急的な迂回路として、また、地域間（大井羽賀～福栄吉田）の交流促進と利便性の向上を図るため、道路を整備します。

事業年度：平成17～令和10年度

総事業費：5億5,915万4千円

全体計画：延長 1,600m 道幅 5.0～6.5m

事業内容：道路改良工事 延長 100m

[財源内訳] 土木費国庫補助金 1,635万円、市債 1,360万円、一般財源 5万円

■弘法寺堀内線無電柱化事業（810万円）

（担当課：土木課）

世界文化遺産の構成資産「萩城下町」の要素のひとつである「御成道（弘法寺堀内線）」について、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から無電柱化を計画しています。事業実施に先立ち行った試掘調査で遺構が確認されたため、整備方針の見直しを行います。

事業年度：令和1年～

全体計画：延長 530m

事業内容：概略検討見直し業務

〔財源内訳〕 土木費国庫補助金 810万円

■神畑線道路整備事業（5,004万8千円）

（担当課：土木課）

見島地区住民や観光客の利便性の向上を図るため、見島宇津地区と観光スポットの北灯台にアクセスする道路を整備します。

事業年度：平成28年度～（第2期工区）

総事業費：4億4,000万円

全体計画：延長 1,000m 道幅 4.0m

事業内容：道路改良工事 延長 180m

〔財源内訳〕 市債 5,000万円、一般財源 4万8千円

■ <新規>小原畦田線土砂災害防止対策事業（1,100万円）
（債務負担行為：2億円）

（担当課：土木課）

小原地区の小原畦田線において、道路法面に変状が発生しているため、市道の安全性を確保するため、土砂災害防止対策を実施します。

事業年度：令和8～9年度

総事業費：2億 1,100万円

全体計画：延長 40m

事業内容：設計業務

[財源内訳] 市債 1,100万円

■ 椿東地区急傾斜地崩壊対策事業（4,000万円）

（担当課：土木課）

急傾斜地崩壊危険区域内にある家屋など、市民の生命・財産を災害から保護するため、急傾斜地崩壊対策施設を整備します。

事業期間：令和6～9年度

総事業費：2億 1,000万円

全体計画：延長 70m

事業内容：施設整備工事 延長 35m

[財源内訳] 土木費県補助金 2,000万円、市債 2,000万円

■ <新規>立地適正化計画改定事業（924万4千円）
（債務負担行為：1,070万3千円）

（担当課：都市政策課）

萩市立地適正化計画は令和2年3月に策定し、令和7年度末で6年が経過したことから、これまでの取組の評価等を行うとともに、都市再生特別措置法の改正に伴い、計画の改定を行います。

事業期間：令和8～9年度

総事業費：2,005万円

対象区域：都市計画区域

〔財源内訳〕 土木費国庫補助金 457万円、一般財源 467万4千円

■ 東萩駅前広場整備事業（2,478万4千円）
（債務負担行為：4,519万2千円）

（担当課：都市政策課）

東萩駅前広場は供用開始から40年以上が経過し、施設の老朽化が進行していることから、施設利用者の安全性の確保や利活用の促進、維持管理費の低減を基本的な方針として、魅力ある駅前広場としての再整備を行います。

事業期間：令和6年度～

全体計画：約0.9ha

事業内容：設計業務（令和8～9年度）

〔財源内訳〕 土木費国庫補助金 1,238万4千円、市債 1,230万円
一般財源 10万円

■住宅改修資金助成事業（700万円）

（担当課：建築課）

市内の施工業者を利用して、住宅のリフォームを行う場合にその経費の一部を補助することで、住環境の向上、地場産業の活性化及び空き家の有効活用を図ります。

事業内容：工事費用が10万円以上の場合、経費の10%を補助（上限額10万円）
※子育て世帯、三世帯同居・近居又は空き家を取得しリフォームを行う場合、補助率は最大30%まで引き上げ（上限額50万円）

[財源内訳] あなたのふるさと萩応援基金繰入金 700万円

■老朽危険空き家対策事業（1億3,797万2千円）

（担当課：建築課）

所有者等に対し、空き家の適正な管理及び活用を促進するとともに、老朽化した空き家の除却を支援します。

また、倒壊等著しく保安上危険な建物については解体等の措置を行い、住環境の保全と安全・安心なまちづくりを推進します。

事業内容：空き家の所有者等への助言及び指導

空き家の所有者等の調査

老朽危険空き建築物の解体・動産処分（略式代執行）

老朽危険空き家実態調査

老朽危険空き家除却促進事業補助金

老朽化して危険な空き家の除却を推進するため、市内の建設業者等を利用して解体工事を行う場合に、必要な経費を補助します。

補助額 補助対象経費の2/3以内（上限額100万円）

空き家地域活用支援事業補助金

空き家住宅等を地域の交流施設等として10年以上有効に活用する方に対し、改修に要する経費の一部を補助します。

補助額 補助対象経費の2/3以内（上限額300万円）

[財源内訳] 土木費負担金 30万円、土木費国庫補助金 4,587万円
一般財源 9,180万2千円

教育委員会事務局

◆予算の概要

「5つの良し」のまちづくりに掲げる、「育てて良しのまちづくり」、「学んで良しのまちづくり」の実現に向け、また、「萩市ひとづくり構想」の基本理念である「新しい時代を切り拓くひとづくり」を実現するため、創造（広い視野を持ち、新たな視点から考える人）、挑戦（現状に甘んじることなく、未来に向かって果敢に挑む人）、協働（人との関わりを大切に、社会のために共に行動する人）を目指す人の姿として、学校教育、社会教育、文化・芸術、スポーツ、読書活動の各分野において施策を展開しています。

学校教育においては、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進する中で、その地域、学校ならではの特色ある教育活動を展開し、ふるさと萩を誇りとし、志を抱き、人や社会と積極的に関わる児童生徒の育成を目指します。

また、児童生徒の多様なニーズに対応した教育の推進に向け、様々な関係者や家庭教育支援チーム等と連携し、不登校児童生徒の居場所づくりに向けた環境整備に努めます。

さらに、中学校部活動の地域クラブ活動への移行については、少子化の中にあっても、子どもたちが将来にわたりスポーツや文化・芸術活動に継続して親しむことができる環境づくりに取り組みます。

教育環境の整備については、引き続き小中学校の特別教室における空調設備の整備や、トイレの洋式化を進めます。

少子化が進む中、市内高等学校の定員維持に向けて、通学費支援や高校生寮の運営、市内下宿利用者への支援など、萩の子どもが萩で学ぶことができる環境づくりを推進します。

あわせて、大学・高校等を卒業後に市内に居住する方を対象に奨学金返還支援を行い、安心して教育を受けられる環境の整備と、若者の市内定住の促進を図ります。

市内小中学校の児童生徒数が減少する中、集団生活を通じた社会性の涵養など、学校教育が担う役割の維持が懸念されていることから、今後も子どもたちにとってより良い教育環境が維持できるよう、小中学校のあり方について議論を始めます。

社会教育においては、青少年が自ら思い描く未来（夢）の実現に向け、新しいことに挑戦するきっかけとなるよう、引き続き「未来を切り拓くひとづくりセミナー」を開催します。

文化・芸術、スポーツの各分野では、伝統芸能フェスティバルの開催支援を通じて、地域に受け継がれてきた伝統芸能や文化の保存に努めます。また、トップアスリートの合宿誘致やスポーツ指導者の育成を進め、将来、子どもたちが地域の指導者として活躍するサイクルの構築に取り組みます。

生涯にわたる学びの拠点である図書館については、市民の誰もが気軽に利用できる図書館づくりを進めるとともに、読書環境の一層の充実を図ります。

◆主要事業の概要

■高校生寮運営事業（1,570万6千円）

（担当課：教育政策課）

島しょ部や遠隔地に居住しており、市内高等学校への通学が困難な生徒のために、高校生寮を運営し、市内高等学校へ通学しやすい環境を整え、市内高等学校の定員維持を図ります。

【高校生女子寮】

部屋数：12室

負担額：寮費 3千円／1室・1月当たり

実費（食費、光熱水費）3万3千円程度／1室・1月当たり

※食費は平日のみ

【高校生男子寮】

部屋数：9部屋

負担額：寮費 1万円／1室・1月当たり

実費（食費、光熱水費）4万2千円程度／1室・1月当たり

※対象となる高等学校

山口県立萩高等学校（本校、奈古分校）

山口県立萩商工高等学校

萩光塩学院高等学校

〔財源内訳〕 教育使用料 151万2千円、雑入 33万円、一般財源 1,386万4千円

■＜新規＞小中学校のあり方検討事業（22万9千円）

（担当課：教育政策課）

少子化の進行により、児童生徒数が急激に減少しており、学習・教育活動の面では、多様な価値観にふれる機会や、集団の中で切磋琢磨する機会の減少が懸念されます。

このため、市立小中学校のあり方を検討するための委員会を設置し、保護者や地域住民の皆様と、これからの萩の学校のあり方について、議論を開始いたします。

事業内容：小中学校のあり方検討委員会の設置

〔財源内訳〕 一般財源 22万9千円

■小中学校特別教室空調設備整備事業（2億8,064万5千円）

（担当課：教育政策課）

市立小中学校の特別教室の空調設備を整備することにより、教育環境の改善を図ります。

対象校：見島小学校、萩東中学校、萩西中学校、越ヶ浜中学校、大島中学校
川上中学校、田万川中学校、むつみ中学校、須佐中学校、福栄中学校

[財源内訳] 教育費国庫補助金 6,132万8千円、市債 2億1,920万円
一般財源 11万7千円

■小中学校トイレ改修事業（405万1千円）

（担当課：教育政策課）

児童・生徒の教育環境の改善及び災害時の避難所としての機能向上を図るため、小中学校のトイレを洋式化します。

事業内容：萩東中学校 設計業務

[財源内訳] 市債 270万円、一般財源 135万1千円

■子育て世帯応援学校給食費助成事業（9,944万5千円）

（担当課：学校教育課）

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境の充実を図るため、市内の小中学校に通う児童生徒の学校給食費を助成します。

[財源内訳] 教育費県補助金 5,923万2千円、学校給食基金繰入金 4,021万3千円

■部活動地域クラブ移行推進事業（2,183万円）

（担当課：学校教育課）

中学校部活動の地域クラブ活動への移行については、令和8年9月をもって、平日・休日ともに公立中学校の部活動を終了し、地域クラブ活動へ移行します。

移行後も生徒が継続してスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するため、地域クラブ活動コーディネーターを継続して配置するとともに、教育委員会が事務局（運営団体）を担い、指導者の確保や地域クラブの運営を支援します。

事業内容：地域クラブ活動コーディネーターの設置
放課後地域クラブ活動の設置・運営
指導者資格取得補助
地域クラブ創設支援補助
経済的困窮世帯の生徒への参加費等の支援

[財源内訳] 教育費国庫補助金 171万4千円、教育費県補助金 1,206万3千円
一般財源 805万3千円

■萩市民館建物調査事業（3,025万円）

（担当課：文化・生涯学習課）

竣工から57年が経過し、老朽化が進んでいることから、萩市民館の今後の方向性を検討するため、建物の構造、耐震性、設備の詳細な調査を行います。

事業期間：令和7年11月5日～令和8年6月30日（予定）

事業内容：建物の構造、耐震性、設備の調査
大規模改修及び建替えの概算事業費の算定

[財源内訳] 合併特例基金繰入金 3,020万円、一般財源 5万円

■ <拡充>電子書籍読み放題パック導入事業（566万4千円）

（担当課：萩図書館）

いつでも、どこでも予約なしで読むことのできる電子図書を導入し、電子図書館の拡充を図ります。

事業内容：電子児童書・電子雑誌読み放題パックの導入

[財源内訳] あなたのふるさと萩応援基金繰入金 560万円、一般財源 6万4千円

■ スポーツ指導者等地域人材育成事業（267万円）

（担当課：スポーツ振興課）

萩市ひとづくり推進計画に基づき、スポーツ指導者の育成と競技力の向上を図るため、青山学院大学陸上競技部等と連携し、スポーツ指導者育成カリキュラムの活用や研修会等を行います。

事業内容：スポーツ指導者等地域人材育成業務委託

[財源内訳] 教育費国庫補助金 133万5千円、一般財源 133万5千円

■ <新規>社会体育施設LED照明設置事業（6,647万9千円）

（担当課：スポーツ振興課）

照明器具をLED照明に改修することにより、施設の環境改善及び省エネルギー化による費用の削減を図ります。

事業内容：施工監理業務
LED照明設置工事

対象施設：萩市民体育館

[財源内訳] 市債 6,640万円、一般財源 7万9千円

消 防 本 部

◆予算の概要

近年、地震や集中豪雨、台風、林野火災などの大規模災害が全国各地で頻発しており、今後も地球温暖化に伴う異常気象の影響等により、自然災害の増加が懸念されています。

また、人口減少や高齢化の進展による人口や社会構造の変化は、今後も消防需要に大きく影響することが予想され、住宅密集地域での大規模火災、広範囲に及ぶ林野火災に対応する火災防御活動、出動件数が増加し続けている救急活動への対応及び各種災害活動をはじめとした必要な業務を継続できる消防体制の確保が必要とされています。

こうした中、市民の「安全・安心」の確保は、本市における消防防災行政の基本的な責務であるとともに、地域社会活性化への重要な課題であることから、引き続き、揺るぎない消防体制を整えることにより、あらゆる災害に対応し、ふるさとの住みよい社会環境の維持を図ります。

また、将来にわたって持続可能な消防体制の構築を図り、複雑多様化する災害の発生に備えるため、消防車両及び安全装備品等の資機材を更新します。

近年、地域社会と密着した消防団活動の重要性が再認識されており、本市においても消防団を中核とした地域防災力の充実強化を推進しています。今後も、消防団員の処遇改善や、高視認性雨衣などの安全装備品の充実、消防団施設の整備を図ります。

さらに、女性や幅広い年齢層への入団の呼びかけや、幼少期から消防団に触れ合えるイベント等の充実を図るなど、消防団がより身近に感じる施策を展開するとともに、消防団協力事業所制度の推進や認定事業所の拡充など、地域と消防団がさらに密着し、有効に活動できる体制を確保し、地域防災力の強化を図ります。

市民の皆様が、今以上に「安全・安心」に暮らせるよう消防本部及び消防署並びに消防団が一体となり、「住んで良しのまちづくり」の実現を目指します。

◆主要事業の概要

■常備消防車両整備事業（債務負担行為：2億6,000万円）

（担当課：消防総務課）

消防力の充実・強化を図るため、常備消防車両を計画に基づき更新します。

更新車両：はしご車（萩市消防署）

更新年度：令和9年度

■消防団車両整備事業（3,441万1千円）

（担当課：消防総務課）

地域防災力の強化を図るため、消防団に配備している消防車両を計画に基づき、更新します。

更新車両：越ヶ浜分団 CD-I型消防ポンプ自動車
福栄第5分団 小型動力ポンプ付軽積載車

[財源内訳] 市債 3,440万円、一般財源 1万1千円